

令和6年 第3回

区づくり推進横浜市議員会議

会議資料



中 区

中区区づくり推進横浜市議員会議

目 次

議 題

- (1) 令和5年度中区個性ある区づくり推進費決算状況について……………P1
- (2) 令和5年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績について……………P4
- (3) 令和6年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況について…P21
- (4) 令和7年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方について……………P37
- (5) その他

令和5年度中区個性ある区づくり推進費決算状況

1 総括表

(単位：円)

予算区分	予算現額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	執行率
(1) 自主企画事業費	100,491,000	95,731,606	4,759,394	95.3%
(2) 統合事務事業費	53,397,000	53,482,963	△ 85,963	100.2%
(3) 区庁舎・区民利用 施設管理費 ※	434,402,000	434,662,295	△ 260,295	100.1%
合 計	588,290,000	583,876,864	4,413,136	99.2%

※当初予算額 427,725,000円から2月補正により、予算現額が 6,677,000円増額となっています。

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位：千円)

施策	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	主な事業、実施内容
1 安全・安心で健やかに 暮らせるまちづくり (8事業)	20,354	19,839	515	地域防災力向上事業 減災行動啓発、災害時担い手育成等を実施 花・緑でまちの環境改善事業 花壇やプランター等の設置でまちの環境改善を実施
	差引の主な理由 【地域防災力向上事業】で資機材点検等が安価で契約できたことによる残			
2 子どもから高齢者まで ともに支え合うまちづくり (7事業)	17,636	15,751	1,885	中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業 第4期計画の周知・推進、地域活動の支援を実施 みんなで子育て事業 育児に関する講座等を実施 みんなでSTOPザ虐待 育児に関する講座、学齢期家庭への支援等を実施 地域包括ケアシステム推進事業 高齢者の地域交流促進、認知症介護者支援等を実施
	差引の主な理由 【みんなでSTOPザ虐待事業】で未受診勧奨業務委託が安価で契約できたことによる残			
3 多文化共生のまちづくり (3事業)	13,471	12,664	807	多文化共生まちづくり事業 多文化運動会や、多言語翻訳機器の運用を実施 多文化交流事業 Rainbowスペースの運営や多文化理解講座を実施
	差引の主な理由 【多文化交流事業】で翻訳・ボランティアの依頼件数が当初の想定よりも少なかったことによる委託料の残			
4 地域の活力があふれる まちづくり (10事業)	27,902	25,796	2,106	「中区愛」はぐくみ事業 チューリップ球根配布、中区って「イイネ！」フォトコンテスト2023等を実施 インクルーシブスポーツ推進事業 インクルーシブスポーツ体験会やポッチャ交流大会等を実施 商店街魅力アップ事業 ラジオ番組や地域情報誌と連携した情報発信等を実施
	差引の主な理由 【まちづくり推進事業】でSDGs推進にかかる研修の実施方法の見直しによる委託料等の残			
5 地域に寄り添い、ともに 行動する区役所づくり (2事業)	21,128	21,681	△ 553	区役所サービス環境向上事業 庁舎内の案内・警備の委託や執務環境の改善等により 区民満足度の向上を推進
	差引の主な理由 【区役所サービス環境向上事業】で会議室ロールスクリーンを更新したことによる増			
合 計	100,491	95,732	4,759	

注)各欄の金額は、千円未満を四捨五入しているため、各項目の集計と合計とが符合しない場合があります。

(2) 統合事務事業費

(単位：千円)

事業区分	予算現額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
統合事務事業費	53,397	53,483	△ 86	差引の主な理由 統合事務費の通信運搬費の増
統合事務費	37,666	38,232	△ 566	差引の主な理由 通信運搬費の増
統合事業費	15,731	15,251	480	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

事業区分	予算現額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
区庁舎・区民利用施設管理費	434,402	434,662	△ 260	差引の主な理由 区庁舎等、区民利用施設の修繕件数が多かったことによる増
区庁舎等管理費 (光熱水費等管理費を含む)	114,795	114,948	△ 153	区庁舎(本館・別館)、中土木事務所、 区民活動センター
公会堂管理費 (光熱水費等管理費を含む)	19,505	17,181	2,324	開港記念会館
地区センター等管理費	108,438	108,438	0	地区センター(3)、集会所(1)
ログハウス管理費	8,391	8,391	0	こどもログハウス(1)
老人福祉センター等管理費	43,163	43,163	0	老人福祉センター(1)
コミュニティハウス管理費	73,168	73,168	0	コミュニティハウス(6)
区スポーツセンター管理費	51,918	51,918	0	中スポーツセンター(1)
区庁舎・区民利用施設修繕費	2,965	5,436	△ 2,471	区庁舎等、区民利用施設の修繕
その他 (国際交流ラウンジ・遊び場)	12,059	12,017	42	国際交流ラウンジ(1)、子どもの遊び場 (6)、町のはらっぱ(1)

注) 各欄の金額は、千円未満を四捨五入しているため、各項目の集計と合計とが符合しない場合があります。

注) 補正について：区庁舎・区民利用施設管理費のうち、区庁舎及び土木事務所の光熱水費を 6,677千円 補正


令和5年度自主企画事業費一覧


(単位：円)


No.	事業名	予算額	決算額	差引	所管課	重点
1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり						
1	地域防災力向上事業	9,058,000	8,565,422	492,578	総務課	★
2	安全なまち・防犯対策推進事業	2,364,000	2,423,529	△ 59,529	地域振興課	
3	交通安全啓発・放置自転車対策事業	2,047,000	2,273,578	△ 226,578	地域振興課	
4	ヨコハマ3R夢プラン推進事業	1,789,000	1,791,436	△ 2,436	地域振興課	
5	初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業	2,000,000	1,997,000	3,000	区政推進課	
6	花・緑でまちの環境改善事業	1,050,000	1,011,320	38,680	中土木事務所	
7	食と暮らしの安全・安心事業	1,235,000	1,094,458	140,542	生活衛生課	
8	動物適正飼育推進事業	811,000	682,573	128,427	生活衛生課	
小 計		20,354,000	19,839,316	514,684		
2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり						
1	中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業	2,064,000	1,825,204	238,796	福祉保健課	★
2	健康アシスト事業	2,882,000	2,122,540	759,460	福祉保健課	
3	地域包括ケアシステム推進事業	2,131,000	2,039,775	91,225	高齢・障害支援課	★
4	障害児・者ネットワーク支援事業	960,000	808,351	151,649	高齢・障害支援課	
5	みんなで子育て事業	4,005,000	3,621,568	383,432	こども家庭支援課	★
6	みんなでSTOPが虐待	4,694,000	4,282,624	411,376	こども家庭支援課	★
7	なかくっ子はぐくみ事業	900,000	1,050,592	△ 150,592	区政推進課	★
小 計		17,636,000	15,750,654	1,885,346		
3 多文化共生のまちづくり						
1	多文化情報発信事業	3,363,000	3,466,504	△ 103,504	区政推進課	
2	多文化共生まちづくり事業	1,850,000	1,636,970	213,030	区政推進課	★
3	多文化交流事業	8,258,000	7,560,765	697,235	地域振興課	
小 計		13,471,000	12,664,239	806,761		
4 地域の活力があふれるまちづくり						
1	「中区愛」はぐくみ事業	5,279,000	4,944,095	334,905	区政推進課 地域振興課 中土木事務所	★
2	まちづくり推進事業	1,634,000	1,159,358	474,642	区政推進課	
3	自治会町内会活動支援事業	3,843,000	3,545,495	297,505	地域振興課	
4	みんながつながる地域づくり事業	1,240,000	902,500	337,500	地域振興課	★
5	商店街魅力アップ事業	3,500,000	3,299,600	200,400	地域振興課	
6	インクルーシブスポーツ推進事業	2,345,000	2,203,916	141,084	地域振興課	
7	スポーツ・青少年事業	3,550,000	3,246,357	303,643	地域振興課	
8	区民活動支援事業	2,886,000	2,972,950	△ 86,950	地域振興課	
9	ハローよこはま2023	2,925,000	2,925,000	0	地域振興課	
10	都市間交流事業	700,000	596,711	103,289	総務課 区政推進課 地域振興課	
小 計		27,902,000	25,795,982	2,106,018		
5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり						
1	区役所サービス環境向上事業	17,269,000	17,478,430	△ 209,430	総務課	★
2	広報・案内事業	3,859,000	4,202,985	△ 343,985	区政推進課	
小 計		21,128,000	21,681,415	△ 553,415		
合 計		100,491,000	95,731,606	4,759,394		


令和5年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績【議題2】


1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり


事業名		事業内容
1 地域防災力向上事業 ★		<p>中区防災計画に基づき地域防災力の向上を図りました。特に区民の自助・共助の意識醸成のため、横浜市避難ナビアプリの周知やコミュニティFMを活用した防災情報発信等に引き続き取り組みました。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業</p> <p>ア 地域及び企業・団体等への減災支援(講話24回(地域15回、企業・団体等9回)、防災まち歩き1回・計約700人・前年比8回増)</p> <p>イ 共同住宅の管理組合等への説明会・居住者向けの啓発(8回160人)</p> <p>ウ オンライン防災講演会(6年3月配信・約550回再生・前年比110%)</p> <p>エ 地震・風水害・崖防災対策等の啓発 マリンFM等を活用した防災情報の発信(月1回)、即時避難指示対象区域5か所の全住民へ早期の避難行動等の周知(6月 約100世帯)</p> <p>オ 関東大震災100年を契機とする防災啓発 防災講話(7月72人)、都市発展記念館と連携した関東大震災時中区写真パネル展(公共施設4か所及び各種イベント時)</p> <p>(2) 災害時の担い手育成事業 区内学校への防災出前教室(市立小(7/9校)、中(5/5校)、高(1/3校)、私立学校(4/20校)・累計18回)、防災ウォーク(2回)</p> <p>(3) 防災訓練・災害対策事業</p> <p>ア 防災訓練 (ア) 本部運営訓練(7月、9月、11月 計62人) (イ) 情報受伝達訓練(6年1月) (ウ) 帰宅困難者対策訓練(6年2月 10施設4機関)</p> <p>イ 地域防災拠点の充実・訓練の実施及び本部体制の充実・災害対策 (ア) 地域防災拠点に女性視点WGの検討結果を踏まえた備品を配備 (イ) マリンFMの緊急割込み放送やICT機器等を活用した情報受伝達手段の活用</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策35	施策2	
 <p>防災出前教室の様子</p>		
予算額	9,058千円	
決算額	8,566千円	
差引	492千円	
所管課	総務課	


事業名		事業内容
2 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心に、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となって防犯活動に取り組みました。特に近年多発している特殊詐欺被害の啓発イベントやキャンペーン、地域に向けた情報発信を中心とした防犯対策を推進しました。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業</p> <p>ア 中区民暮らし安全推進協議会総会の開催(5月23日)</p> <p>イ 各種防犯キャンペーンの実施 街頭犯罪抑止対策早朝駅頭キャンペーン(10月)</p> <p>ウ ハローよこはま2023へのブース出店(11月12日)</p> <p>エ 寄席de防犯(6年2月16日 180人)</p> <p>オ 4警察・3防犯協会、防犯協力会・区役所合同会議(10月)</p> <p>カ 地域自主防犯活動委員会の開催(各地区連防犯担当者会議)(5月、7月、9月、11月、6年3月)</p> <p>(2) 防犯情報配信事業 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール等を活用して配信</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業 防犯活動費等の支援や防犯活動物品の貸与等を実施 対象：地区連合町内会、防犯団体、小学校等 ※新小学校一年生へ防犯ブザーを配布(4月 865個)</p> <p>(4) 防犯教室事業</p> <p>ア こども防犯教室の開催(10回)</p> <p>イ 高齢者防犯教室の開催(寄席de防犯)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策9	施策4	
 <p>寄席de防犯</p>		
予算額	2,364千円	
決算額	2,424千円	
差引	△60千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
3 交通安全啓発・ 放置自転車対策事業 横浜市中期計画2022～2025 政策28 施策3		<p>区内で多発する高齢者や自転車の交通事故対策及び放置自転車・バイクの対策などについて、各警察署や地域の関係団体と連携したキャンペーン等の啓発活動を通して、交通事故防止と自転車等の放置防止に取り組みました。</p> <p>(1) 交通安全啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 中区交通安全対策協議会への支援 イ 中区交通安全子どもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用 (中区交通安全対策協議会共催) (7月～12月) ウ スクールゾーン対策の実施 (5月～3月) エ 各団体への補助金を交付 (5月、7月) オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 キ 保護者向け自転車マナー啓発チラシを配布 (6月) ク 中区役所内のデジタルサイネージに自転車マナー啓発画像を表示 <p>(2) 放置自転車対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 イ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び協力 ウ 放置自転車等移動要望への対応 <p><参考> (道路局配付予算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車等監視業務の実施 ・スケアードストレイト (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室を大鳥中学校で開催 (7月19日)
 <p>ハローよこはま2023 交通安全啓発活動</p>		
予 算 額	2,047千円	
決 算 額	2,274千円	
差 引	△227千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
4 ヨコハマ3R夢 プラン推進事業 横浜市中期計画2022～2025 政策19 施策1		<p>ごみと資源の総量を平成21年度比で全市的に10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」の達成、及び「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進に取り組みます。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ア ヨコハマ3R夢プラン推進活動 (14か所) 中区役所1階分別相談窓口 (毎月2回) イ 区庁舎内に設置する資源回収ボックスによるごみの資源化・減量化 小型家電、リユース文庫(2,259冊)、水銀含有製品回収(53個)等 ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業：イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱の無料貸与 (6団体に貸出) エ フードドライブ活動を実施 (627点) <p>(2) 中区クリーンアップ事業</p> <p>区民・事業者・ボランティア団体による清掃活動 (3団体 約600名)</p> <p>中区クリーンアップDAY! 2023を実施 (12月2日 約150名)</p> <p>(3) 美化運動支援事業</p> <p>まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援 (8団体)</p> <p>(4) まちの美化対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ(8回 約420人) イ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策を実施 ウ 外国人への啓発として分別講座の実施 (なか国際交流ラウンジ等 全4回) <p>(5) 美化推進者表彰</p> <p>まちの美化推進に貢献した個人団体へ区長感謝状贈呈 (6年3月12日)</p>
 <p>中区クリーンアップDAY</p>		
予 算 額	1,789千円	
決 算 額	1,791千円	
差 引	△2千円	
所 管 課	地域振興課	


事業名		事業内容
5 初黄・日ノ出町地域 再生まちづくり事業		<p>まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、都市整備局、にぎわいスポーツ文化局、市民局と連携しながら、地元協議会の活動に対する補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を行いました。</p> <p>また、まちの活性化には更なる活動の参画者・担い手を増やして行くことが重要であるため、地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に関わる団体だけではなくアーティストとも連携し、子どもが参加する取組や大岡川周辺の環境改善など、各テーマに沿ったまちづくり活動を行いました。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助 ア 協議会定例会等の開催（総会1回、定例会5回、役員会6回） イ 防犯啓発活動イベント等の開催 （防犯パトロール12回、防災訓練11月26日実施、清掃活動等） ウ 広報活動 （まちづくりニュースの発行計4回、打ち水イベントを8月5日に実施）</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 ア 協議会等に係る各種会議の運営・開催支援 イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援 ウ まちづくりに関するイベント、ワークショップ等の企画立案 エ 地域活動に係る広報活動の支援 （まちづくりニュースの編集、ホームページ運営支援等）</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策29	施策2	
 <p>打ち水イベントの様子</p>		
予算額	2,000千円	
決算額	1,997千円	
差引	3千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
6 花・緑で まちの環境改善事業		<p>区民（自治会、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行いました。</p> <p>また、夏場の省エネや温暖化対策の普及啓発を目的とした、区内の小学校等への花緑のカーテンの設置や、種まきイベントを開催しました。</p> <p>さらに、ハローよこはまにおいてGREEN×EXPO 2027 PRイベントを開催し、機運醸成に取り組みました。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業 ア 花苗提供（2,000株） イ プランター設置・維持管理（10か所） 実施か所 本牧埠頭交番前、花咲町（音楽通り交差点付近）、大和町、柏葉公園、長者町（長者町5丁目交差点付近）、竹之丸（竹之丸保育園付近）、山手駅、開港広場公園、鷺山公園、福富町西公園 ウ 種まきイベント（春・秋）（6か所） 実施か所 錦保育園、山手保育園、太陽の子 不動下保育園、横濱中華幼保園、保育園ばんびーな、竹之丸保育園 エ 花緑のカーテン設置（5か所） 実施か所 山手保育園、横浜訓盲学院、中土木事務所、山元小学校、本牧小学校</p> <p>(2) 普及啓発事業 園芸講習会（2回・参加者合計26人）</p> <p>(3) 区庁舎おもてなし事業 ハローよこはまにてGREEN×EXPO 2027 PRイベント開催（1か所） オリジナル缶バッジの作成・配布</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策9	施策2	
 <p>園芸講習会の開催</p>		
予算額	1,050千円	
決算額	1,012千円	
差引	38千円	
所管課	中土木事務所	


事業名		事業内容
7 食と暮らしの安全・安心事業		<p>食品取扱施設、環境衛生関係施設等に対する監視指導や、事業者・消費者に対する衛生教育、情報発信により、食中毒等の健康被害の予防及び拡大・再発防止を図り、区民の食と暮らしの安全・安心を確保する取組を実施しました。</p> <p>(1) 生活衛生関係施設の衛生確保支援事業</p> <p>ア 生活衛生関係施設の衛生対策</p> <p>(ア) 効果的な監視指導 監視指導件数：3,507件（うち中華街一斉監視：216件（6～7月））</p> <p>(イ) イベント等での食品衛生指導、法改正周知 衛生指導件数：293件</p> <p>イ 社会福祉施設への食中毒等予防支援 立入指導、郵送啓発：区内対象施設全件（89件 主に6年1～2月）</p> <p>(2) 暮らしの安全に関する情報発信事業</p> <p>ア 衛生講習会等 講習会：32回・1,882人（中華街向け講習会（3回 147人）を含む。）</p> <p>イ 区民向け啓発等 区庁舎本館広告モニター等での動画上映、別館でのパネル展示、広報よこはまなか区版での啓発（8月、11月、12月）</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン ハローよこはまにて消費者啓発、食の安全に係るアンケートを実施（11月・500人参加）</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策7	施策2	
 <p>監視指導時に配布する中国語チラシ</p>		
予算額	1,235千円	
決算額	1,095千円	
差引	140千円	
所管課	生活衛生課	


事業名		事業内容
8 動物適正飼育推進事業		<p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、区獣医師会や動物適正飼育推進員等と適宜連携のうえ、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組みました。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施しました。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場における犬の飼い主への啓発（4月、3会場 207頭）</p> <p>イ ハローよこはま及びスマイリングフェアにおける来場者への啓発（11月、6年3月）</p> <p>ウ 根岸森林公園における散歩中の飼い主への放し飼い防止等に係る啓発、指導（1回）</p> <p>エ 適正飼育啓発用動画作成・区ホームページ公開（6年2月）</p> <p>オ 広報よこはまなか区版での啓発（6年2月、3月）</p> <p>カ 飼い主のいない猫の不妊去勢手術推進のため、猫の捕獲器の貸出しや、手術費用の助成を実施（捕獲器貸出し：6件、手術補助金申請受付：59件）</p> <p><参考>猫の不妊去勢手術推進事業（医療局事業） 市内に生息する飼い主のいない猫の減少を目的として不妊去勢手術費用の一部補助を実施</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業</p> <p>ア 地域防災拠点訓練におけるペット同行避難に係る講話・展示による啓発（2拠点）</p> <p>イ 地域防災拠点運営委員会におけるペット同行避難ルール検討の支援（2拠点）</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策35	施策5	
 <p>地域防災拠点におけるペット一時飼育場所設置例</p>		
予算額	811千円	
決算額	683千円	
差引	128千円	
所管課	生活衛生課	

2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策10 施策1		誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちにするための中区地域福祉保健計画を広く周知し、地域の福祉保健に関する活動を推進しました。 (1) 中なかいいネ！推進会議の運営 地域の見守り力を高める「えん結び」と健康づくり「元気いっぱい」の活動を推進するため、区推進会議（年3回）や地区別推進会議（13地区中9地区・のべ40回）を開催しました。 (2) 計画推進のための取組 ア 計画の周知 地域ケアプラザのイベント等で計画をPRしたほか、広報よこはまに記事（年5回）を掲載しました。中なかいいネ！推進月間の7月に区役所で各地区の活動を紹介するパネル展を開催しました。 イ 地域支援チームによる13地区の支援 区社会福祉協議会・地域ケアプラザと連携して、13地区の取組を支援しました。（チーム会議 のべ82回） ウ 中なかいいネ！発表会の開催 取組事例の共有や取組の広がりを目的に区民等を対象に発表会を行いました。（6年2月11日 約70人）（アンケート結果 よかった・まあよかった 計98%） (3) 人材の育成 ア 地域人材の育成 地域で活動する方々の団体間や自治会町内会と連携・協働するきっかけづくりを目的に、ワークショップを開催しました。（6年1月29日 事業者・団体等18団体） イ 地域支援従事者研修 区・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの職員を対象に地域支援に必要な知識習得のための研修を開催しました。（5月17、19日 計60人）
 <p>中なかいいネ！ 推進月間パネル展</p>		
予算額	2,064千円	
決算額	1,826千円	
差引	238千円	
所管課	福祉保健課	


事業名		事業内容
2 健康アシスト事業 横浜市中期計画2022～2025 政策7 施策1		区民が自身の健康に関心を持ち、身近な健康づくりが実践できるよう、健康教育やウォーキング等の健康づくり活動の支援・啓発を行いました。 (1) 健康ナビゲーション事業 仕事や育児・家事で忙しい子育て中の就労世帯を中心に、乳幼児健診や地域等へ出張して健康測定（29回 参加者699人）を行い、自身の健康を見直すきっかけづくりを行いました。 (2) てくてくウォーキング事業 各地域でのウォーキング活動を定着させるため、子育て支援拠点と連携した講座や保健活動推進員向けリーダー研修等（2回 受講者31人）を行いました。研修を受けた保健活動推進員が地域でウォーキングイベントを開催し、地域でのウォーキング活動が広がっています。 (3) 中区健康づくり月間事業（元気フェスタ21） 多くの人が集まる区民祭りの場を活用し、三師会等の関係機関と連携した健康増進啓発活動を行いました。（11月 約3,500人） (4) 安心子育て妊娠糖尿病対策事業 乳幼児健診・赤ちゃん教室等を通じた啓発を行い、糖尿病リスクの高い時期に重点的に啓発を行いました。 (5) 食育推進事業 子育て支援拠点での個別相談（12回 相談者101人）や講座（12回 受講者144人）、食育月間に合わせた講座やイベント（3回 参加者254人）を行い、食育の啓発や推進を行いました。また、関係機関とネットワーク会議（9団体14人）を行い、連携を深めました。 (6) 歯科口腔保健対策事業 子育て支援拠点や老人クラブ等と連携し、ライフステージに応じた口腔疾患の予防と健康増進の啓発を行いました。（48回 741人）
 <p>てくてくウォーキング事 （歩行姿勢測定とウォーキ ングアドバイス） @子育て支援拠点</p>		
予算額	2,882千円	
決算額	2,123千円	
差引	759千円	
所管課	福祉保健課	

事業名		事業内容
3 地域包括ケアシステム推進事業★		<p>「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めました。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援し、地域の交流・介護予防活動を支援しました。 ア 老人クラブ連合会行事への補助、開催支援 ふれあい運動会（6月16日 300人）、老人福祉大会（9月26日 250人）、グラウンドゴルフ大会（5月23日 61人、10月23日 60人）、ノルディックウォーキング（5回 のべ92人） イ 老人クラブへの加入促進 チラシ作成(7,500部)、加入促進グッズ（リュック）購入（350個） ウ 敬老月間事業 区内特養入所者(2か所)あて祝品贈呈</p> <p>(2) 介護予防事業 ア 介護予防普及啓発イベント「アクティブシニアフェスタ」開催（10月4日 講演会・体力測定会など） イ 介護予防リーフレットを区内小学校9校の児童を含め配布（7月）</p> <p>(3) 認知症支援事業 ア 認知症高齢者等の介護者を対象とした、臨床心理士による個別相談を実施（18回） イ 認知症普及啓発 認知症への理解や地域の見守りの充実に向け、認知症理解の普及啓発ロゴマークを公募し作成（7～3月） ウ 認知症サポーター企業等の認証（80事業所(うち新規13事業所)）</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策15	施策 1	
 <p>中区老人福祉大会 (中区老人クラブ連合会)</p>		
予算額	2,131千円	
決算額	2,040千円	
差引	91千円	
所管課	高齢・障害支援課	


事業名		事業内容
4 障害児・者ネットワーク支援事業		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制づくりを推進しました。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図りました。 ア 中区障害者自立支援協議会の開催（代表者会議(1回)、事務局会議(12回)、部会(5部会、各5～6回程度)他） イ 支援者のスキルアップ及び権利擁護等に関する研修会の開催（全3回のべ111人）</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 ポレポレグッズ（障害者作業所製品）の販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援しました。 ア ポレポレグッズカタログ更新 イ 販路拡大委員会（中区障害者団体連絡会）への補助金交付 ウ 販路拡大委員会の運営支援 ナカナ・カフェ運営委員会の運営支援 エ 区庁舎での合同販売支援（12回） オ プロスポーツチームと連携した販売 （横浜エクセレンスの試合の際にポレポレグッズを販売 6回） カ 横浜武道館での卓球大会での販売（4回）</p> <p>(3) 障害理解推進事業 「共生社会の実現（障害者差別解消法）」に向けて障害に対する理解を促進するため、インクルーシブスポーツの体験（5月28日）や区障害者団体連絡会主催のポレポレ祭り（10月28日）など、地域社会に対する働きかけを行いました。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策13	施策 1	
 <p>ポレポレグッズカタログ 「なかなかいよいよ」</p>		
予算額	960千円	
決算額	809千円	
差引	151千円	
所管課	高齢・障害支援課	


事業名		事業内容	
5 みんなで子育て事業★		<p>子育て中の方が身近な地域で安心して子育てできるよう、また、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、行政が地域や家庭と連携し、地域全体で子育てのできる環境づくりに取り組みました。</p>	
横浜市中期計画2022～2025			
政策1	施策4	<p>(1) コンパス事業 専門家による子育て講座を開催 (3回 募集90人申込101人、当選者82名、うち51人参加) ※各人数はすべて3回の合計。</p> <p>(2) 外遊び応援事業 身近な公園で親子と一緒に過ごせる外遊びの機会の提供 4月26日横浜公園、5月10日・6年3月13日本牧山頂公園、6月7日山吹公園、9月15日山手見晴らし公園、10月25日根岸森林公園、11月15日本牧市民公園(7回 99組208人参加)</p> <p>(3) 保護者向け保育所等情報提供 「中区保育所等利用のしおり」(10月 3,500部)</p> <p>(4) 「おでかけスポットマップ」の作成 日本語版 (6年3月 1,000部) カタログポケットにて多言語版を配信</p> <p>(5) 外国人向け両親教室 のんびりんこにて中国語を母語とする方向けの両親教室 (2回 5人)</p> <p>(6) 中国語窓口案内補助 窓口案内等中国語通訳(通年 357件)</p>	
外遊び応援事業			
予算額	4,005千円		
決算額	3,622千円		
差引	383千円		
所管課	こども家庭支援課		


事業名		事業内容	
6 みんなでSTOP ザ虐待★		<p>地域で子育てを見守る力を高め子どもも保護者も相談しやすい環境を整えます。</p>	
横浜市中期計画2022～2025			
政策4	施策1	<p>(1) 児童虐待対応力向上事業 弁護士を活用した事例検討会・研修を実施(2回 49人)</p> <p>(2) 赤ちゃん学級 0歳児の第1子の親を対象にした育児教室を実施 69回 998人(7会場×10回/年 1回中止)</p> <p>(3) 乳幼児健診の充実 きょうだい児連れ等が受診しやすい環境整備と、受診勧奨の充実 ア 乳幼児健診に保育ボランティアを配置(53回) イ 未受診家庭の状況把握や情報提供を実施(訪問72件 電話250件)</p> <p>(4) 育児を学ぶ教室・講座 親が育児について相談したり学んだりする子育て講座の実施 ア ベビーマッサージ教室(12回 参加親子のべ100人) イ 体罰によらない子育て講座(4回連続講座 19人)</p> <p>(5) 相談業務強化事業 児童扶養手当現況届の受付時等の相談員の配置 相談対応件数(2,475件)</p> <p>(6) 学齢期家庭向け支援事業 子どもが自ら相談機関につながることを目的とした啓発等の実施 ア 虐待予防啓発動画の普及に向けたみなとみらい線デジタルサイネージの活用(11月～6年3月) イ 啓発のしおり配布(区内公立小学校4年生～中学校3年生4,740枚) 区内公立中学校に実施したアンケートで、困った時の相談先を知っている生徒の割合：啓発前に比較して5%増 ウ 一般市民向け子ども虐待予防啓発のための動画作成</p>	
子ども向け児童虐待防止啓発カード			
予算額	4,694千円		
決算額	4,283千円		
差引	411千円		
所管課	こども家庭支援課		

事業名		事業内容
7 なかくっ子はぐくみ事業★		<p>横浜市中期計画の実現に向け、区役所各課の子ども・子育てに関する取組を「なかくっこ すくすくサポート」としてまとめ、庁内プロジェクトで議論をしながら推進しました。</p> <p>令和5年度は共通ロゴマークを策定して各課の子ども・子育て関連事業で幅広く活用し、小学生の夏休み自由研究に活用できる各課・区内企業の取組を「なかくっこ自由研究大作戦」としてまとめて、区役所一丸となった子育て支援をPRしました。</p> <p>(1) 地域と子どもをつなぐまちづくり事業</p> <p>ア 子ども・子育て事業担当課職員の庁内プロジェクト発足（5月）</p> <p>イ 「なかくっこ すくすくサポート」共通ロゴマークを作成、各課のチラシや取組にて活用（6月～）</p> <p>ウ 「なかくっこ自由研究大作戦」の実施（7月、8月）</p> <p>内容：小学生の夏休みの自由研究に活用できる区役所各課や中区企業が提供する15の題材をまとめ、リーフレット計7,000部を区内外の小学校、区内施設に配布して周知しました。</p> <p>参加者数：イベント形式の題材（コンクール形式以外の題材）については児童202人、保護者95人の計297人が参加しました。（児童定員：206人）</p> <p>(2) 保育園児駅伝大会での多文化共生推進</p> <p>平成22年度から毎年、中区内で開催している、保育園5歳児による駅伝大会において、「龍舞」体験コーナーを設け、龍舞を参加園児に体験してもらうことにより多文化への理解を深めました。</p> <p>合計5回開催し、全施設30園中29園から445人が参加しました。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策1	施策4	
 <p>©KUSUMI / GX</p> <p>なかくっこすくすくサポート ロゴマーク</p>		
予算額	900千円	
決算額	1,051千円	
差引	△151千円	
所管課	総務課、区政推進課 子ども家庭支援課	


3 多文化共生のまちづくり


事業名		事業内容
1 多文化情報発信事業		<p>人口の11.4%（5年度末時点）を占める外国人住民に対して多言語広報紙やホームページ等により、わかりやすくタイムリーに行政情報・地域情報を発信しました。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業 ア 発行回数及び発行部数 (ア) 「Naka Ward Town News」(英語版) (4回 各4,200部) (イ) 「春夏秋冬」(中国語版) (4回 各4,400部) (ウ) 「中区多言語広報紙」(日本語版) (4回 各1,000部) イ 特集内容 夏号 多言語で相談できる場所(7月1日発行) 秋号 日本での子育て(10月1日発行) 冬号 病気やケガになったときのために(6年1月1日発行) 春号 中区に暮らす外国人(6年4月1日発行)</p> <p>(2) 多言語ホームページ運営事業 ア 言語: 英語、中国語、ハンガール、やさしい日本語 イ 回数: 月1回(12回更新) ウ 内容: 広報よこはま・なか区版掲載の特集・イベント情報抜粋、生活情報等</p> <p>※この他、利用者の利便性向上を図るため、多言語ホームページを整理・リニューアルしました。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策11	施策3	
 <p>多言語広報紙</p>		
予算額	3,363千円	
決算額	3,467千円	
差引	△104千円	
所管課	区政推進課	


事業名		事業内容
2 多文化共生 まちづくり事業★		<p>日本人、外国人が共に地域の一員として安心して暮らせるまちづくりを進めるため、多文化共生の意識醸成を通じて、第2期多文化共生推進アクションプランの推進を図りました。</p> <p>(1) 多文化共生推進アクションプラン推進事業 職員向け「やさしい日本語」研修の実施(3月) 講師: 岩田一成氏(聖心女子大学現代教養学部教授)</p> <p>(2) 多文化共生交流促進事業 ア 外国人住民と日本人住民が交流できる多文化運動会「にじいろ大合戦」を実施(8月) 運営主体: 「にじいろ大合戦企画運営委員会」(にじいろ探険隊) 協力: 埋地地区連合町内会、横浜吉田中学校、不老町地域CP、日本語支援拠点施設「ひまわり」、横浜エクセレンス、さわやかスポーツ普及委員会 参加者数: 122名 イ 地域における多文化共生イベント「公園であそぼう」(3月) ⇒ 荒天により中止</p> <p>(3) 多言語翻訳機器充実事業 ア 多言語翻訳機器エムシーカタログプラス&カタログポケットの利用 イ 各課窓口には配備しているポケトーク12台の通信期限の2年延長実施</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策11	施策3	
 <p>多文化運動会</p>		
予算額	1,850千円	
決算額	1,637千円	
差引	213千円	
所管課	区政推進課	


事業名		事業内容	
3 多文化交流事業		<p>なか国際交流ラウンジで、外国人支援及び多文化理解を推進しました。</p> <p>(1) 地域連携・人材育成事業 ヒアリング等により地域と連携しながら外国につながる若者の居場所作り及びボランティア育成等に取り組みました。 ア 連合町内会定例会に月1回程度参加し、地域ヒアリングを実施 イ Rainbowスペースの運営 (41回 のべ588名) 参加者間の交流、生活・進路等についての情報提供、相談 ウ 多文化共生ボランティア入門講座 (6回 のべ58名) エ ボランティア日本語教室連絡会の開催 (2回 のべ15名)</p> <p>(2) 日本語学習支援事業 ア 定期教室 (60回 のべ905名、満席) イ はじめての日本語教室 (60回 のべ252名、満席)</p> <p>(3) 多文化交流・多文化理解事業 多文化理解講座の実施 (13回)、多文化フェスタ (12月16日 580名)</p> <p>(4) 多文化ボランティア育成・活用事業 通訳ボランティアの派遣、地域イベント等のチラシ翻訳</p> <p>(5) 中区案内等翻訳事業 各課の簡易な案内表示等を翻訳 (英語、中国語)</p> <p><参考>生活ガイダンス事業 (国際局配付予算) 転入外国人向けにタブレットを活用した生活ガイダンスを実施</p> <p><参考>地域連携強化事業 (国際局配付予算) 外国人集住地域での課題解決を図るコーディネーターが、地区定例会の参加や連携地域での多文化共生事業等を実施</p>	
横浜市中期計画2022～2025			
政策11	施策3		
 <p>中区多文化フェスタ</p>			
予算額	8,258千円		
決算額	7,561千円		
差引	697千円		
所管課	地域振興課		


4 地域の活力があふれるまちづくり


事業名		事業内容
1 「中区愛」はぐくみ事業★		<p>区の花「チューリップ」やマスコットキャラクター「スウィンギー」をはじめ、横浜開港の歴史と異国情緒を感じさせる街並みやスポット等、様々なあふれる中区の魅力を区民、区内事業者と連携し、発信・再発見することで、地域への愛着をはぐくみ、地域の活性化・元気づくりにつなげました。</p> <p>(1) チューリップであふれるまち事業 区の花「チューリップ」の認知度向上を図るため、横浜公園での植付け(11月)やハローよこはま(11月)等で球根の配布を行いました。(球根配布数、3860個)</p> <p>(2) 中区みんなのマスコット「スウィンギー」事業 マスコットキャラクター「スウィンギー」を各種イベントに派遣(21回)したほか、PRグッズ等を作成しました。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業 「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」第8版の配布を行いました。第8版の英語版及び中国語版を作成し、HP上に公開しています。</p> <p>(4) 中区って「イイネ!」フォトコンテスト2023 中区内の“私だけが知っている”「中区の魅力」を写真に撮り、エピソードを添えたものを募集しました。(7月～6年1月、258点応募、6年3月22日 市庁舎アトリウムで入賞作品を表彰)</p> <p>(5) 横浜マイスター技能魅力発信事業 中区に在勤する着付け師の横浜マイスターによる講演を実施しました。(6年3月:11人)</p> <p>(6) 大学・企業等連携事業 企業と連携し「なかくっこ自由研究大作戦」の題材として、SDGs講座(7月:81人)や関東学院大学と連携した区役所職業体験(8～9月)の実施及び大学周辺の魅力発信等を実施しました。</p> <p>(7) 区制100周年に向けた情報収集と機運醸成事業 他自治体周年事業の調査や「中区を知ろう講座」を実施しました。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策10		
		
中区って「イイネ!」フォトコンテスト 入賞作品		
予算額	5,279千円	
決算額	4,945千円	
差引	334千円	
所管課	区政推進課 地域振興課 中土木事務所	


事業名		事業内容
2 まちづくり推進事業		<p>中区は、住宅環境をはじめ、商業、港、観光、文化・芸術、国際性などの多様な魅力がある横浜市の中心です。安心して生活し、働き、訪れたい魅力の中区の実現を目指してまちづくりを進めました。</p> <p>区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行いました。また、5年度は歴史的建造物等の観光資源を活用し、区内を回遊する取組を実施しました。</p> <p>(1) 地域まちづくり活性化事業 ア 地域の賑わい創出の取組 謎解きをしながら楽しく歴史的建造物等を回る「中区の歴史をめぐる謎解きラリー」を実施しました。(6年2月から3月) イ まちづくり団体のルール運用・新規ルールづくり等の支援 (ア) まちづくり活動を行っている区民や団体を支援するため定例会等へ参加(通年) (イ) 本郷町3丁目地区の地域住民が組織するまちづくり協議会の活動支援(8回)</p> <p>(2) SDGs推進事業 ア 中区SDGsマルシェの開催(14回) 中区役所別館横駐車スペースでの実施(毎月第2水曜日) Yokohama Triathlon Festival ハマトラFESへの出展(5月14日) 中区民祭り「ハローよこはま2023」への出展(11月12日) イ 「なかくっこ自由研究大作戦」でのSDGs企画の実施(8月9日) 小学生を対象に、中区SDGsマルシェでの店員の一日体験を実施しました。店員の一日体験を通じて地産地消やSDGsについて啓発を行いました。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策29	施策2	
		
中区の歴史をめぐる謎解きラリー		
予算額	1,634千円	
決算額	1,160千円	
差引	474千円	
所管課	区政推進課	


事業名		事業内容
3 自治会町内会活動支援事業		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携・協力関係を深めました。自治会町内会への加入を促進し暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援しました。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進 加入促進チラシの配布や新規建築マンション管理組合への働き掛けなど新たな自治会町内会設立・加入を支援しました。</p> <p>(2) 町内会掲示板整備補助事業 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備についてその経費の一部を補助しました。</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会 市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表すため、表彰式・感謝会を開催しました。(6年3月7日 80名)</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援 自治会町内会実務担当者向け研修会や区連会定例会等を通じ、自治会町内会の活動を支援しました。(研修会 4月22日、25日 64名)</p> <p>(5) 学生連携事業 関東学院大学の学生と自治会町内会長との意見交換など若者と地域との関わり場を創出しました。引き続き、自治会町内会加入率の低下や担い手不足など地域が抱える課題解決の手がかりを探っていきます。</p> <p><参考> (市民局配付予算) ・地域活動推進費補助金・防犯灯維持管理費補助金 ・自治会町内会館整備補助金</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策9	施策1	
 <p>自治会町内会加入促進チラシ</p>		
予算額	3,843千円	
決算額	3,546千円	
差引	297千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
4 みんながつながる地域づくり事業★		<p>地域人材の発掘・育成及び自治会町内会をはじめとした地域の様々な主体が連携・協働した、主体的・継続的な地域課題解決の取組を支援しました。</p> <p>(1) 地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業 地域が自主的に、各種団体と連携しながら、地域を盛り上げる祭りやイベントを企画し、実施できるよう支援しました。イベントへの参加を通じ若い世代の自治会町内会活動に参加するきっかけに繋がるとともに、多世代の区民と一緒に地域の盛り上げに関わることも目指しました。</p> <p>ア 地域の賑わい、つながり作りのための補助金 (みんながつながる地域づくり補助金 6件)</p> <p>イ 自治会町内会のICT活用支援リーフレット「とらの巻」配布 (前編「スマホ活用 LINE編」、後編「ホームページ編」)</p> <p>ウ 区民活動支援センターや国際ラウンジとの連携支援 (とらの巻で区民活動支援センターの「街の先生」を紹介)</p> <p>(2) 地域運営力向上サポート事業 地域が自主的に、地域の課題を考え、勉強会の成果をもとに新たな取組を始められるよう、地域(連合地町内会、単位町内会等)の中で課題となっているテーマについて、勉強会を開催するための専門家・コーディネーター等の派遣費用の支援を行いました。</p> <p>・参加したくなる「会議」の進め方(ファシリテーション研修) 1地区 ・他都市の事例や地域の担い手を探すポイントを学ぶ 1地区 合計 2地区</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策9	施策2	
 <p>スプリング・コンサート</p>		
予算額	1,240千円	
決算額	903千円	
差引	337千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
5 商店街魅力アップ事業		<p>地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行いました。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業</p> <p>ア マリンFMを活用した番組制作及び放送 「ただいま商店街！」を放送 (6月～6年3月 40回放送 ※うち20回は再放送)</p> <p>イ 地域広報紙への記事掲載</p> <p>ウ 広報よこはま なか区版6年2月号に特集記事を掲載</p> <p>エ その他 (ア) 商店街紹介動画の配信(平成29年度から作成) (イ) 「ただいま商店街！」の放送内容のアーカイブ配信</p> <p>(2) SDGs 商店街プロジェクト事業</p> <p>SDGsの目標の1つである「住み続けられるまちづくり」の実現のため、商店街の活性化と、商店街と地域との繋がりを深めること目指し、小学校の総合授業と連動した取組等を実施しました。</p> <p>ア 大鳥小学校、商店街、ヨコハマSDGsデザインセンターとの連携により「商店街応援シードペーパー」を作成</p> <p>イ 横浜国立大学教育学部附属横浜小学校が商店街と連携してオリジナル弁当を開発した取組を広報支援</p> <p>ウ 中区民祭り「ハローよこはま2023」の場を活用した発信</p> <p><参考> (経済局配付予算) 商店街活性化イベント補助金(交付申請団体:24団体)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策20	施策4	
 <p>広報活動事業 (コミュニティFM放送)</p>		
予算額	3,500千円	
決算額	3,300千円	
差引	200千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
6 インクルーシブスポーツ推進事業		<p>インクルーシブスポーツを推進することにより、障害者や高齢者等、これまでスポーツに取り組む機会が少なかった人にスポーツと関わる機会を提供するとともに、地域社会で生活する人々の交流促進を図りました。</p> <p>また、参加者が一緒にスポーツに取り組み、時間、場所、経験等を共有することで、誰もがお互いを尊重し合い、いきいきと暮らすことができる共生社会の実現に向けた機運醸成を図りました。</p> <p>(1) 体験できる場の提供</p> <p>ア インクルーシブスポーツ体験会の開催 ボッチャ、車いすバスケットボール、ブラインドサッカー、アンブティサッカー、ラダーゲッター、輪投げ、射撃(輪ゴム)の体験会 (5月28日 約1,500名 会場:大通り公園)</p> <p>イ 区内のイベントにおける体験ブースの設置 区内で開催されるイベントに体験ブースを設置 (ア) ポレポレまつり(10月28日 約250名 会場:本牧いずみ公園) (イ) ハローよこはま(11月12日 約600名 会場:象の鼻パーク)</p> <p>(2) 交流大会の開催</p> <p>体験を通じてインクルーシブスポーツの魅力を発信するため、ボッチャ交流大会を開催(6年3月3日) 会場:横浜市中スポーツセンター 参加者:15チーム71名</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策8	施策2	
 <p>インクルーシブスポーツ体験会</p>		
予算額	2,345千円	
決算額	2,204千円	
差引	141千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
7 スポーツ・青少年事業		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、区民の健康づくりに寄与する事業を、地域の関連団体と連携して展開しました。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業 ア 区スポーツ協会活動支援事業（大会等の開催支援、事業費補助） イ 健康づくり推進事業 (ア) ラジオ体操指導者講習会（6月24日 25名） (イ) ランニングクリニック、ランニングセミナー（6月10、17日、6年3月30日・のべ60名）</p> <p>(2) プロスポーツチーム等との連携事業 横浜エクセレンス、横浜キャノンイーグルス、横浜DeNAベイスターズ、Y.S.C.C横浜と連携 ア 中区スポーツ教室（ラグビー3校、バスケットボール1校） イ YC&ACキッズラグビー教室（6年2月17日・約60名） ウ 区民祭りにおけるスポーツ体験コーナー設置（11月12日） エ 区民デーの広報ほか開催支援</p> <p>(3) 青少年育成事業 ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成の取組を行う団体に事業費を補助（2団体） イ 青少年の交流促進 (ア) なかくっ子クルーズ（6月22日 マリーンルージュ 児童90名） (イ) 中区ダンスフェスティバル（7月30日） (ウ) 小学生フットサル大会（6年1月28日、6年3月3日）</p> <p>(4) ウォークラリー推進事業 街並再発見と健康づくりを目的に地域団体（青少年指導員、スポーツ推進委員）が主体となり開催（5月28日 53組150名）</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策8	施策1	
 <p>なかくっ子クルーズ</p>		
予算額	3,550千円	
決算額	3,247千円	
差引	303千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
8 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援しました。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進しました。また、中区読書活動推進目標に基づき地域の施設や団体、民間事業者等と協働して区全体で読書活動を推進しました。</p> <p>(1) 区民活動支援事業（区民活動センター） ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 登録団体や街の先生の作品展・ワークショップ（6月）、中区民利用施設スタンプラリー（10月16日～11月30日）、センター祭り（11月12日 637名）、なかく街の先生ガイド発行（6年3月）、登録団体との連携講座（年11回）、街の先生オープン講座（年3回）、団体支援講座（1回） イ 情報提供・発信事業 情報誌「なかぼぼら」の発行（隔月発行） 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援（月2回）</p> <p>(2) 生涯学習支援事業 人材育成講座「パソコン指導ボランティア養成講座」（全4回） 人材育成講座「竹灯籠制作養成講座」（全4回） 街歩き講座「中区タウンピクニック」（年3回）</p> <p>(3) 文化活動支援事業（共催・後援等による文化活動の支援）</p> <p>(4) 読書活動推進事業 ア 施設等と連携した「なか区ブックフェスタ」（10～11月 27団体） イ 読書啓発イベント「本活コミュニケーション」（11月25日 48名）</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策9	施策4	
 <p>センター祭り</p>		
予算額	2,886千円	
決算額	2,973千円	
差引	△87千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
9 ハローよこはま2023		<p>中区民の交流と調和による地域連帯の醸成と、区民の健康増進を目的に中区民祭り「ハローよこはま2023」を開催しました。</p> <p>(1) 開催方針</p> <p>ア 中区のもつ活力や魅力を広く発信していくことで、「区民はもとより、中区で働く人や横浜を訪れる人々も楽しめるイベントづくり」を心がけました。</p> <p>イ アフターコロナに向けて、改めて中区民としての意識の高揚や、地域愛及び協働・自治意識の醸成を行いました。</p> <p>ウ 「笑顔あふれるハローよこはま～未来を担うこどもとともに～」をメインコンセプトとし、こどもたちが参加しやすいイベントとなるよう、各プログラムやブース出店に取り組みました。</p> <p>また、横浜市で開催される「GREEN×EXPO 2027」や、同じく2027年に迎える「中区制100周年」に向けた機運醸成などに関係機関・団体等と連携し取り組みました。</p> <p>(2) 開催実績</p> <p>ア 日程 : 11月12日(日) 午前10時～午後4時</p> <p>イ 会場 : 象の鼻パーク</p> <p>ウ 来場者数 : 約71,000人</p> <p>エ 参加者 : ブース出店 : 81団体、ステージ出演 : 13団体</p> <p>(3) 実施内容</p> <p>ア 区民団体及び企業等によるブース出店(91ブース)</p> <p>イ 中区で活動する団体等によるステージ発表</p> <p>ウ 「GREEN×EXPO 2027」「中区制100周年」を身近に感じる特設ブース</p> <p>エ 横浜エクセレンス、横浜キャノンイーグルス、横浜DeNAベイスターズ、Y.S.C.C.と連携したスポーツ体験コーナー</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策9	施策2	
		
<p>中区民祭り 「ハローよこはま2023」</p>		
予算額	2,925千円	
決算額	2,925千円	
差引	0千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
10 都市間交流事業		<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、相互に魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、地域経済の活性化及びふるさと意識の醸成につなげました。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市：友好交流協定(平成26年3月締結)</p> <p>ア 飯能新緑ツーデーマーチ(5月)、中区民祭り(11月)、飯能まつり(11月)にて協議会ブースを出展し交流PRを実施</p> <p>イ 飯能市制施行70周年記念式典へ出席。(11月)</p> <p>ウ 協議会(5月、8月、6年1月)、代表者会議(6年2月)及び交流10周年プロジェクト会議(4回)を実施</p> <p>エ 交流10周年を契機に中区長及び飯能市長が友好交流推進宣言を実施(6年2月)</p> <p>(2) 群馬県嬬恋村：友好交流協定(平成28年2月締結)</p> <p>ア つまごい祭りにて、交流PRを実施(7月)</p> <p>イ 中区民祭りにて、嬬恋村がPRブースを出展(11月)</p> <p>ウ 区HPやSNSなどの区広報媒体等にて、交流PRを実施</p> <p>(3) 岩手県釜石市：友好交流協定(平成26年3月締結)</p> <p>ア 中区職員が釜石市を訪問し、防災に関する意見交換等を実施(10月)</p> <p>(4) 仁川広域市中区：友好交流協定(平成22年3月締結)</p> <p>ア 仁川広域市中区副区長ほか4名が中区役所やコミュニティハウス等を訪問(4月)</p> <p>イ 第32回仁川広域市中区民の日記念式(9月)に際し、中区長によるビデオメッセージを送付。</p> <p>ウ みなとみらい21プロジェクトの視察のため、仁川広域市中区庁長が横浜市を訪問(10月)</p> <p>※上記のほか、山形県米沢市、沖縄県宜野湾市と交流を実施</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策22	施策3	
		
飯能市及び横浜市中区のマスコットキャラクター		
予算額	700千円	
決算額	597千円	
差引	103千円	
所管課	総務課、区政推進課 地域振興課	

5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1 区役所サービス環境向上事業★		<p>ぬくもりある行政サービスを提供するため、職員の区民サービスへの意識向上に取り組みました。また、来庁者及び職員にとって利用しやすい庁舎となるよう、環境改善・執務環境の向上に取り組みました。</p> <p>(1) 人権啓発事業 人権が尊重される社会を目指し、区民を対象にした人権啓発映画上映会を開催（6年3月5日）しました。（参加者の92%が良かった、非常に良かったと回答）また、職員の人権意識の向上を図るため、研修（全体会2回、グループ別研修40回）を継続して実施しました。</p> <p>(2) 区民顕彰、CS・ES向上、人材育成事業 地域活動等に積極的に取り組み、活力あふれる中区の実現に貢献した区民、団体の功績を表彰しました。（1団体、中区食生活等改善推進委員会） CS向上を目的とした研修として傾聴力+説明力向上研修（6年1月19日、1月22日）を実施しました。（参加者の96%が満足度高と回答） 職員参加型プロジェクトの実施（9プロジェクト）や人材育成研修を実施し、職員満足度の向上を目指しました。</p> <p>(3) 利用しやすい区役所づくり事業 警備・案内の業務委託のほか、庁舎環境の改善（7月～9月スポットクーラー設置等）を実施しました。 安心してコミュニケーションがとれる窓口づくりを推進するため、音声を実タイムに認識し、アクリル板などに字幕として表示できる「窓口字幕システム」を購入し、設置をしました。</p> <p>(4) 執務環境向上事業 横浜DX戦略におけるデジタル区役所の推進を図るため、各課へ持ち出し用タブレット(20台)等を購入し、ICT環境の拡充を進めました。</p>
		
窓口字幕システム		
予 算 額	17,269千円	
決 算 額	17,479千円	
差 引	△210千円	
所 管 課	総務課	

事業名		事業内容
2 広報・案内事業		<p>様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげました。また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるよう、総合案内窓口専任のスタッフを配置しました。</p> <p>(1) 広報相談事業</p> <p>ア 区ホームページでの区政情報発信 年間アクセス件数：1,248,507件</p> <p>イ X（旧Twitter）、LINEによるイベント情報等の発信 X（旧Twitter）フォロワー数8,140人 発信件数260件 （6年3月末時点） 5年3月末よりフォロワー数407人増、発信件数5件増</p> <p>ウ 庁内職員のための広報研修 ・広報デザイン基礎研修 参加者23人 区民に伝わるチラシデザインのポイントについて ・広報マインド・スキル研修 参加者18人 X（旧Twitter）、LINE等媒体ごとの広報のポイントについて</p> <p>(2) 総合案内運営事業</p> <p>ア 1階総合案内に受付専任スタッフ（委託）を配置 案内実績 49,491件（4年度より812件増） 1日あたり平均187件</p> <p>イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ配架</p> <p>ウ 1階ロビーのデジタルサイネージによる動画及び画像の投影 （動画49件 画像32件）</p>
		
日本大通りのイチョウの様子をホームページ及びSNSにて発信		
予 算 額	3,859千円	
決 算 額	4,203千円	
差 引	△344千円	
所 管 課	区政推進課	

令和6年度自主企画事業費一覧


(単位：千円)


No.	事業名	予算額	所管課	重点
施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり				
1	地域防災力向上事業	8,999	総務課	★
2	安全なまち・防犯対策推進事業	2,364	地域振興課	
3	交通安全啓発・放置自転車対策事業	1,841	地域振興課	
4	みらい環境育成事業	1,639	地域振興課	
5	初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業	2,000	区政推進課	
6	花・緑でまちの環境改善事業	500	中土木事務所	
7	食と暮らしの安全・安心事業	1,235	生活衛生課	
8	動物適正飼育推進事業	811	生活衛生課	
小計		19,389		
施策2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり				
1	中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業	3,264	福祉保健課	★
2	健康アシスト事業	2,596	福祉保健課	
3	地域包括ケアシステム推進事業	2,131	高齢・障害支援課	★
4	障害児・者ネットワーク支援事業	960	高齢・障害支援課	
5	みんなで子育て事業	4,280	こども家庭支援課	★
6	みんなでSTOPザ虐待	3,700	こども家庭支援課	★
7	なかくっこ すくすくサポート推進事業	3,100	区政推進課 総務課 こども家庭支援課	★
小計		20,031		
施策3 多文化共生のまちづくり				
1	多文化共生推進事業	5,539	区政推進課	★
2	多文化交流事業	8,243	地域振興課	
小計		13,782		
施策4 地域の活力があふれるまちづくり				
1	「中区愛」はぐくみ事業	1,239	区政推進課 地域振興課 中土木事務所	★
2	まちづくり推進事業	4,564	区政推進課	
3	自治会町内会活動支援事業	3,355	地域振興課	★
4	みんながつながる地域づくり事業	1,215	地域振興課	★
5	商店街魅力アップ事業	3,425	地域振興課	
6	インクルーシブスポーツ推進事業	2,295	地域振興課	
7	スポーツ・青少年事業	3,440	地域振興課	
8	区民活動支援事業	2,786	地域振興課	
9	中区民祭り「ハローよこはま」	2,925	地域振興課	
10	都市間交流事業	700	総務課 区政推進課	
11	中区制100周年準備事業	1,000	総務課	
小計		26,944		
施策5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり				
1	区役所サービス環境向上事業	15,754	総務課	★
2	広報・案内事業	5,302	区政推進課	
小計		21,056		
合計		101,202		


令和6年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況【議題3】


1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり


※下線が引かれている部分は、8月末時点で実施済みであることを表しています。

事業名		事業内容
1	地域防災力向上事業 ★	<p>中区防災計画に基づき、能登半島地震等の経験も踏まえながら、地域防災力のさらなる向上を図ります。特に令和6年度からは区民の自助・共助の意識醸成のため、共同住宅への啓発を強化します。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業 ア 地域及び企業等に対する減災支援(講話8回、防災まち歩き) イ 共同住宅に特化した啓発 (ア) マンション防災アドバイザー派遣による建物・環境等特性に応じた研修の実施(30回、<u>8月末時点派遣1回</u>)【新規】 (イ) 共同住宅の管理組合や管理会社を対象にした防災・減災広報等 ウ 外部講師によるオンライン防災講演会の開催(7年3月) エ 地震・風水害・崖防災対策等の啓発 マリンFM等と連携した防災情報の発信(月1回)、即時避難指示対象区域5か所の全住民へ早期の避難行動等の啓発(5月 約100世帯) オ 外国人を対象とした防災啓発(講話2回) カ 横浜市避難ナビや感震ブレーカー等の防災・減災ツールの普及啓発</p> <p>(2) 災害時の担い手育成事業 区内の学校を対象とした防災出前教室(15回)、防災ウォークの実施</p> <p>(3) 防災訓練・災害対策事業 ア 防災訓練 (ア) 職員向け防災訓練の実施(7月1回、9、11月) (イ) 情報受伝達訓練の実施(7年1月) (ウ) 帰宅困難者対策会議(12月) イ 地域防災拠点の備品の充実、訓練の実施及び本部体制の充実 (ア) 地域防災拠点のニーズに合わせた備品を継続的に配備 (イ) マリンFMの緊急割込み放送やタブレット・スマートフォン等による情報受伝達手段の確保</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策35	施策2	
 <p>職員によるHAMCOトイレ設置訓練の様子</p>		
予算額	8,999千円	
所管課	総務課	


事業名		事業内容
2	安全なまち・防犯対策推進事業	<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となり、高齢者の被害が後を絶たない振り込め詐欺の防止や、近年増加している悪質な客引きへの対策など、地域の実情に応じた防犯の取組を推進します。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業(232千円) 中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。 ア 総会の開催(<u>5月24日</u>) イ 各種防犯キャンペーンの実施(<u>6月10日 日本大通り駅</u>、10月) ウ 中区民祭り「ハローよこはま」への出店(11月10日) エ 「寄席de防犯」の開催(7年2月) オ 4警察署、3防犯協会、防犯協力会等の関係機関との連絡調整 カ 地域自主防犯活動委員会の開催(5回)</p> <p>(2) 防犯情報配信事業 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール等を活用して広く区民に配信します。</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業(1,705千円) ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与等 イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、市立小学校(4月に新1年生へ防犯ブザー配布775個)</p> <p>(4) 防犯教室・講座事業(427千円) 地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策9	施策4	
 <p>防犯キャンペーン</p>		
予算額	2,364千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
3 交通安全啓発・ 放置自転車対策事業		<p>区内で発生する高齢者や自転車の交通事故対策及び自転車・バイクの放置防止を推進するため、各警察署や地域の関係団体と連携したキャンペーン等の啓発活動を行っています。</p> <p>(1) 交通安全啓発事業 (1,691千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 中区交通安全対策協議会への支援 イ 中区交通安全こどもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用(中区交通安全対策協議会共催) (7月募集開始) ウ スクールゾーン対策の実施 エ 各団体への補助金交付(5~6月) オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 キ 小学生向け「サイクルルールブック」啓発用の冊子配布(5月~) ク 保護者向け交通・自転車ルール啓発リーフレット配布(6月) ケ 中区役所内のデジタルサイネージに交通事故防止の啓発画像を表示 <p>(2) 放置自転車対策事業 (150千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 イ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び実施協力 ウ 放置自転車等移動要望への対応 <p><参考> (道路局再配当予算)</p> <p>港中学校で7月16日に開催を予定していたスケアードストレイト(プロのスタントマンによる交通事故再現)方式による交通安全教室は雨天中止。</p>
横浜市中期計画2022~2025		
政策28	施策3	
 <p>交通安全こども ポスターコンクール 金賞作品</p>		
予算額	1,841千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4 みらい環境育成事業		<p>新たな一般廃棄物処理基本計画【ヨコハマプラ5.3計画】の目標である、「燃やすごみに含まれるプラスチックごみの量を2030年度までに、市全体で2万トン削減」の達成に向け、区民・事業者・行政が協働し、削減に取り組めます。</p> <p>また、SDGsの達成に向け、食品ロスや海洋プラスチックごみの削減に取り組めます。</p> <p>(1) ヨコハマプラ5.3計画推進活動 (160千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各種イベント参加、店頭啓発、地区説明会(地区連合定例会をはじめ13か所で実施) イ 分別相談窓口(乳幼児健診)毎月3回 約300名 ウ 資源回収BOX、リユース文庫による減量化・資源化 エ 中区イベント用ごみ箱貸出事業の実施(8月末までに町内会等7団体に貸出し) オ フードドライブ活動の実施 <p>(2) まちの美化対策事業 (1,329千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 中区クリーンアップDAY! (6月1日 約350名参加) イ 中華街クリーンアップ(年間9回) ウ 不法投棄防止に係る啓発 エ 外国人向けの分別説明会(7月4日:なか国際交流ラウンジ)(7月25日:施設見学会:金沢工場・資源選別センター) オ まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援(2団体) <p>(3) 美化推進者表彰 (150千円)</p> <p>まちの美化推進及び3R行動の推進に功績があった個人・団体へ区長感謝状の贈呈(7年3月)</p>
横浜市中期計画2022~2025		
政策19	施策1	
 <p>中区クリーンアップデー2023</p>		
予算額	1,639千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
5 初黄・日ノ出町地域 再生まちづくり事業		<p>まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、関係局と連携して支援を行います。</p> <p>中区では、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会に活動補助金の交付及びNPO法人黄金町エリアマネジメントセンターを通じた支援を行います。</p> <p>地域の企画と区事業のなかでっこ自由研究大作戦の連携により幅広い対象に活動の周知を図るなど、協議会等への支援を通じて、アーティスト・学生等とも連携した子ども関連の取組や大岡川の活用などのまちづくり活動の活性化を図り、魅力あるまちの形成を目指します。</p> <p>(1) 環境浄化活動支援補助金 (500千円)</p> <p>ア 協議会定例会等の開催</p> <p>イ 防犯啓発活動等の実施 (防犯パトロール：全12回のうち<u>2回</u>実施)</p> <p>ウ 広報活動 (まちづくりニュース：全3回のうち<u>1回</u>発行)</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円)</p> <p>ア 協議会活動の企画、運営手法の検討支援</p> <p>イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援</p> <p><参考> (関係局の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市整備局：小規模店舗の借上げ、エリアマネジメント推進 等 ・にぎわいスポーツ文化局 <ul style="list-style-type: none"> ：高架下スタジオ等を拠点とした創造性を生かしたまちづくり ・市民局：防犯対策支援
横浜市中期計画2022～2025		
政策29	施策2	
 <p>令和6年度の 防災パトロールの様子</p>		
予算額	2,000千円	
所管課	区政推進課	


事業名		事業内容
6 花・緑で まちの環境改善事業		<p>区民（自治会、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行います。</p> <p>また、脱炭素社会の形成、地球温暖化対策の普及啓発、GREEN×EXPO 2027の機運醸成を目的とした、区内の小学校等への花緑のカーテンの設置や、種まきイベント、園芸講習会を開催します。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業 (450千円)</p> <p>ア 花苗提供 (2,000株：<u>1,000株提供済み</u>)</p> <p>イ プランター設置・維持管理 実施予定か所 (10か所) 本牧埠頭交番前、花咲町 (音楽通り交差点付近)、大和町、柏葉公園、長者町 (長者町5丁目交差点付近)、竹之丸 (竹之丸保育園付近)、山手駅、開港広場公園、鷺山公園、福富町西公園</p> <p>ウ 種まきイベント (春・秋：<u>春の種まき実施済み</u>) 実施予定か所 (6か所) 錦保育園、山手保育園、竹之丸保育園、太陽の子 不動下保育園、横濱中華幼保園、保育園ばんびーな</p> <p>エ 花緑のカーテン設置 実施予定か所 (<u>4か所設置済み</u>) 横浜訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所、中区役所</p> <p>(2) 普及啓発事業 (50千円)</p> <p>園芸講習会 (2回・25人/回)</p> <p>9月 秋季園芸講習会</p> <p>7年2月 冬季園芸講習会</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策9	施策2	
 <p>山手保育園の子どもたちと 行った花植えの様子</p>		
予算額	500千円	
所管課	中土木事務所	


事業名		事業内容
7 食と暮らしの安全・安心事業		<p>食中毒等の健康被害の予防及び拡大・再発防止を図り、区民の暮らしの安全・安心を確保するため、食品取扱施設、環境衛生関係施設等の生活衛生関係施設に対する監視指導や、事業者・消費者に対する衛生教育、情報発信を行います。</p> <p>(1) 生活衛生関係施設の衛生確保支援事業 (847千円)</p> <p>ア 生活衛生関係施設の衛生対策を行います。</p> <p>(ア) 中華街やホテル等に対し、清浄度を確認できる検査キットを活用した指導や、多言語チラシを用いた啓発等によりHACCPの導入を推進します。あわせて施設内での感染拡大予防の周知・啓発を行います。</p> <p>(イ) 大規模イベント等での食品提供について、食品の衛生的な取扱いを指導します。また、法改正で設けられた屋台等の許可制度を周知します。</p> <p>イ 高齢者や乳幼児等の健康被害のリスクが高い方が利用する社会福祉施設に対し、立入点検等によりノロウイルス等による食中毒・感染症予防の啓発・指導を行います。</p> <p>(2) 暮らしの安全に関する情報発信事業 (388千円)</p> <p>ア 感染症や衛生害虫対策に関する講習会や広報等により、区民や自治会、事業者に向けて健康被害を予防するための注意喚起を行います。</p> <p>イ 庁舎内の広告モニターやパネル展、動画サイトなどを利用し、幅広い年代の区民への啓発を行います。(5月～)</p> <p>ウ 消費者を対象とした食中毒予防のイベント(食中毒予防キャンペーン)を、飛鳥IIでのキッズツアー(8月 対象40組80人)やハローよこはま(11月)で開催します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策7	施策2	
 <p>清浄度を確認する検査キット</p>		
予算額	1,235千円	
所管課	生活衛生課	


事業名		事業内容
8 動物適正飼育推進事業		<p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組みます。また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施します。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業 (628千円)</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、中区獣医師会と連携して、犬の飼い主への啓発を実施しました。(4月 4会場、220頭の飼い主)</p> <p>イ ハローよこはま等のイベントにて、中区獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者への啓発を実施します。(11月、7年3月)</p> <p>ウ 犬の放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携し、散歩中の飼い主に対する啓発、指導を実施します。</p> <p>エ 令和5年度に作成した啓発用動画等を活用した飼い主向け講習により、動物の適正な飼い方に係る知識の普及を行います。</p> <p>オ 飼い主のいない猫の不妊去勢手術推進のため、猫捕獲器の貸出しや、医療局の行う手術費用の助成の申請受付を行っています。(捕獲器貸出し：6件、手術補助金申請受付：28件)</p> <p><参考>猫の不妊去勢手術推進事業(医療局事業)</p> <p>市内に生息する飼い主のいない猫の減少を目的として不妊去勢手術費用の一部補助を実施</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業 (183千円)</p> <p>ア 地域防災拠点訓練での展示啓発や、ペット同行避難訓練の実現に向けた支援等を行っています。(運営委員会での説明：2拠点)</p> <p>イ ペット同行避難の取組が進んでいる地域防災拠点の受入マニュアル等の成果物を参考に、ホームページ等での啓発、ペット避難所開設キットの拠点配備を推進します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策35	施策5	
 <p>中区動物適正飼育講習会動画(有事に備えたハウストレーニングの様子)</p>		
予算額	811千円	
所管課	生活衛生課	

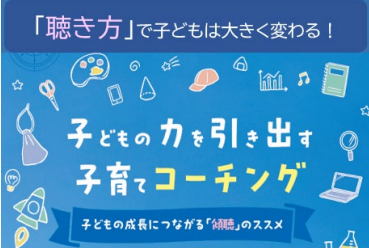
2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策10 施策1		誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていけるまちづくりを目指し、中区地域福祉保健計画の推進に取り組みます。 (1) 中なかいいネ！推進会議の運営 (425千円) 地域の見守り力を高める「えん結び」と健康づくりの「元気いっぱい」の活動を推進するため、区推進会議(第1回 6月10日)と各地区の推進会議を開催します。 (2) 計画推進のための取組、次期計画策定に向けた検討 (2,514千円) ア 計画の周知 7月の中なかいいネ！推進月間にパネル展を区役所で開催、かながわMIRAIストリート(5月25日)や地域の夏祭り等に出席、広報よこはまに各地区の計画を紹介する記事を掲載(4、8、11、1、3月) イ 地域支援チームによる13地区の支援 区社会福祉協議会・地域ケアプラザと連携して、13地区の取組を支援します。(チーム会議 のべ31回(8月末現在)) ウ 中なかいいネ！発表会の開催 取組事例の共有や取組の広がりをもとに区民を対象に発表会を開催します。(7年2月) エ 次期計画策定に向けた検討 現計画の振り返りやインタビュー調査を行い、骨子を策定します。 (3) 人材の育成 (325千円) ア 地域人材の育成 地域で活動する方々の団体間や自治会町内会と連携・協働するきっかけとなる交流の場を設けます。(目標値20団体 11月) イ 地域支援従事者研修 地域支援を行う、区・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの職員向けに研修を開催しました。(新任向け合同研修 5月13、17日 計53人)
 <p>第4期 中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！</p>		
予 算 額	3,264千円	
所 管 課	福祉保健課	


事業名		事業内容
2 健康アシスト事業 横浜市中期計画2022～2025 政策7 施策1		区民が自身の健康に関心を持ち、身近な健康づくりが実践できるよう、健康教育やウォーキング等の健康づくり活動の支援・啓発を行っています。 (1) 健康ナビゲーション事業 (734千円) 子育て中の就労世帯を重点に、体組成計等による健康測定や保健指導により健康づくりのきっかけを提供し、生活習慣病の予防に取り組んでいます。乳幼児健診(5～10人/回・年16回)や健康づくりのイベント(5～20人/回・年10回)の場を活用して行っています。 (2) てくてくウォーキング事業 (528千円) 各地域でのウォーキング活動を定着させるため、子育て支援拠点でのイベント(7月 14人)を行いました。その他、地域へのウォーキング講師派遣やウォーキングガイドブックの改定(12月)を行います。 (3) 中区健康づくり月間事業(元気フェスタ21) (250千円) 多くの人が集まる区民祭りの場を活用し、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の関係機関と連携した健康増進啓発活動(11月)を行います。 (4) 食育推進事業 (495千円) 6月の食育月間に合わせ、食育展(来場者59人)や食育マルシェ(来場者68人)、健康チェックイベント(来場者167人)や食育講座(受講者27人)を行いました。 また、食育を進めるための人材育成や連携推進のため、食育従事者向け研修(7年2月)、食育ネットワーク会議(7年3月)を開催します。 (5) 歯科口腔保健対策事業 (589千円) 子育て支援拠点や老人クラブ等と連携し、妊娠中から高齢者までライフステージに応じた口腔疾患の予防と健康増進の啓発を行っています。 (4～8月、講座11回 118人/9月以降も希望団体へ随時実施)
 <p>中区食育マルシェ (ヘルスマイトによる 野菜計量クイズ)</p>		
予 算 額	2,596千円	
所 管 課	福祉保健課	

事業名		事業内容
3 地域包括ケアシステム推進事業★		<p>「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症に優しい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 (674千円) 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援し、地域の交流・介護予防活動を支援します。 ア 老人クラブ連合会行事への補助・開催支援 (グラウンドゴルフ大会 (5月27日 58名、10月)、老人福祉大会 (9月)、ふれあい運動会 (12月)、ノルディックウォーキング (4～6月、10、11、7年2月)) イ 老人クラブへの加入促進 (通年) チラシ・リーフレット印刷、加入促進グッズ (リュック) 購入 ウ 敬老月間事業 (9月) 区内特養入所者 (2か所) あて祝品贈呈</p> <p>(2) 介護予防事業 (446千円) 介護予防を目的とした通いの場や講演会等の参加を勧奨し高齢者の健康づくりを推進するため、健康シールラリーを実施 (6～10月)</p> <p>(3) 認知症支援事業 (1,011千円) ア 認知症高齢者等の介護者を対象とした、臨床心理士による個別相談の実施 (4月～8月 6回、9月～7年3月 11回) イ 5年度に公募し決定したロゴマークを活用した啓発物品等の作成 (7月～) 幅広い世代で認知症への関心を高めるため、認知症サポーター企業等認証や認知症サポーター養成講座などの場で、ロゴマークを活用した啓発物品等を使用します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策15	施策1	
 <p>ふれあい運動会 (中区老人クラブ連合会)</p>		
予算額	2,131千円	
所管課	高齢・障害支援課	


事業名		事業内容
4 障害児・者ネットワーク支援事業		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくります。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 (590千円) 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制を充実させます。 ア 自立支援協議会の開催 (4～8月、各部会計画に従い定例実施予定) イ 支援者のスキルアップを目的とする研修会開催 (25人/回 8、9、11月) ウ 計画相談支援の利用促進に向けた調査検討、試行実施</p> <p>(2) 障害理解・販路拡大推進事業 (370千円) 障害者の社会参加及び障害理解の推進を図るため、ポレポレグッズ (障害者作業所製品) の販売活動の支援等を行います。 ア ポレポレグッズカタログ紹介リーフレットの作成 イ 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会事業運営費の補助 ウ 販路拡大委員会、ナカナ・カフェ運営委員会開催支援 (各6回) エ 区役所内定期販売会の支援 (4～8月 5回、9～3月 7回)、中区SDGsマルシェでの販売支援 (4～8月 5回、9～3月 7回)、ほか各種行事等への出店支援 オ プロスポーツチームと連携した横浜武道館等でのポレポレグッズの販売 (4～7月 2回、9～3月 4回)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策13	施策1	
 <p>ポレポレグッズカタログ 「なかながいいよ」</p>		
予算額	960千円	
所管課	高齢・障害支援課	


事業名		事業内容
5 みんなで子育て事業★		<p>子育て中の方が身近な地域で安心して子育てができるよう、また、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、行政が地域や家庭と連携し、地域全体で子育てのできる環境づくりに取り組みます。</p> <p>(1) ピースフルファミリー事業(401千円)【新規】 主に、父親を対象に夫婦・パートナーが協力して子育てを楽しむための講座を開催します。(目標30人/回 10、1、2月実施予定)</p> <p>(2) コンパス事業(301千円) 不安や悩みを抱える人が心豊かに子育てができるよう、専門家による子育て講座を開催します。 (6月2回 募集60人申込61人、うち42人参加)</p> <p>(3) 保護者向け保育所等情報提供(201千円) 「中区保育所等のしおり」を作成し、認可保育所、地域ケアプラザ等で配布します。(10月 3,700部)</p> <p>(4) おでかけスポットマップ(395千円) 子育て家庭が安心して楽しく地域の方と交流できるよう、区内の子育て支援施設の情報をまとめた「おでかけスポットマップ」を作成します。(「パマトコ」開設に合わせ更新8月2,500部、7年3月3,500部)</p> <p>(5) 外国人向け両親教室(91千円) 外国につながる区民が安心して子育てできる環境づくりのため、外国語を母語とする方向けの両親教室を実施します。 (平均3～4組/回・6月6日 2組、12月1回実施予定)</p> <p>(6) 中国語窓口案内補助(2,571千円) 各種手続・相談等に対応するため、窓口到中国語通訳を配置します。</p> <p>(7) 保育園園児駅伝大会・龍舞体験(320千円) 中区内保育園5歳児による駅伝大会を行います。(11月) 保育園等で子どもが龍舞を体験する機会を提供します。(7年1月)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策1	施策4	
 <p>コンパス事業</p>		
予算額	4,280千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
6 みんなでSTOP ザ虐待★		<p>安心して子育てができるよう地域で見守る力を高めます。子どもや保護者が相談しやすい環境を整え、育児力を高める場や仲間作りの場を提供します。</p> <p>(1) 児童虐待対応力向上事業(60千円) 児童虐待対応力強化のため区職員を対象に弁護士をスーパーバイザーとした事例検討会を実施します。(7月 21人、7年1月)</p> <p>(2) 育児を学ぶ教室・講座(620千円) 親が育児について相談したり学んだりする子育て講座を開催します。 ア ベビーマッサージ教室(月1回 8月末時点参加親子延人数40人) イ 子育てに役立つほめ方・叱り方のこつ講座 (目標値20組・10月～12月・3回連続講座)</p> <p>(3) 学齢期家庭向け支援事業(600千円) 虐待の早期介入と早期支援のため、子どもが気軽に相談できる環境を整えると共に、地域の関心を高められるよう、啓発事業を実施します。 ア 区内の小学4年生～中学3年生に啓発のしおりを配布(11月～) イ 公共施設等のデジタルサイネージによる啓発動画周知(11～3月) ウ 啓発ポスターの掲示(掲示期間：11月～3月)</p> <p>(4) 赤ちゃん学級(462千円) 1歳未満の第1子の親を対象に仲間づくりや子育ての知識を得ることのできる教室を開催します。(7会場・各会場10回、8月末時点7会場 28回実施、参加親子延数422人、8月は実施なし)</p> <p>(5) 乳幼児健診の充実に関する事業(768千円) 乳幼児健診について、きょうだい児連れの方等が受診しやすいように保育ボランティアを配置します。</p> <p>(6) 相談業務強化事業(1,190千円) 各種手続を含め区民の相談に丁寧に対応するため相談員を配置します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策4	施策1	
 <p>子ども向け児童虐待防止啓発のしおり</p>		
予算額	3,700千円	
所管課	こども家庭支援課	

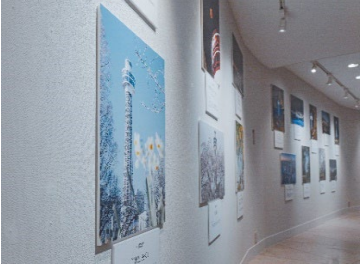
事業名	事業内容
7 なかくっこ すくすくサポート 推進事業★【新規】	<p>横浜市中期計画の基本戦略の実現に向け、各課の子ども・子育てに関する取組を「なかくっこすくすくサポート」としてまとめ、庁内プロジェクトで議論しながら推進します。</p> <p>6年度は「なかくっこ自由研究大作戦」の題材や配布先の拡充を図ります。また、区全域の子ども・子育てネットワーク連絡会を創設し、支援者の横のつながりを強化することで、地域課題に対応した取組を進めます。</p> <p>また、子育て世代が利用しやすい区庁舎環境整備として、寄附型おむつ自販機の設置や、子育て施設等が掲載されている広告型サイネージの設置、5階こども家庭支援課へのサイン改修等を行います。</p>
横浜市中期計画2022～2025	
政策 1	施策 4
 <p>「なかくっこ 自由研究大作戦2024」リーフレット</p>	<p>(1) なかくっこ自由研究大作戦2024 (450千円) 【拡充】 6年度はリーフレットを私立学校等を含む区内小学校など計40か所に配布、実施題材についても民間事業者等が実施する5題材を加え、計18題材に拡充して実施しました。(7月～8月)</p> <p>(2) 子ども・子育て支援ネットワーク推進事業 (300千円) 【新規】 子育て関係団体の横のつながりを強化するため、区全域の子ども・子育てネットワーク連絡会を創設(10月)し、外部有識者によるアドバイスや、子育て当事者を交えたワークショップ(7月13日 10名参加、9月30日)など、地域課題に対応した取組を進めます。</p> <p>(3) 子育て世代にやさしい庁舎内サイン等整備事業 (2,350千円) 【新規】 区役所別館におむつも購入できる寄附型自販機を設置(8月9日)し、本館1階には子育て施設等をまとめた行政地図と多言語対応のタッチ式庁舎案内を含む広告型サイネージを設置します。また、5階こども家庭支援課へのサイン改修を行う等、子育て世代が利用しやすい環境を整備するとともに、確保した歳入を次年度の子ども・子育て関連の取組につなげます。</p>
予算額	3,100千円
所管課	総務課 区政推進課 こども家庭支援課

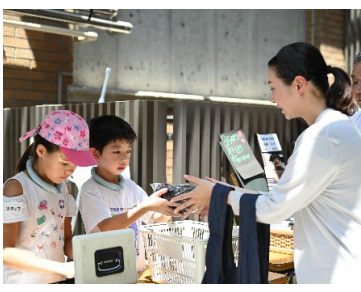
3 多文化共生のまちづくり


事業名		事業内容
1	多文化共生推進事業 ★	<p>「中区多文化共生推進アクションプラン」に基づき、国籍やルーツによらず、誰もが地域の一員として、安心して自分らしく暮らせる多文化共生のまちづくりを進めます。</p> <p>令和6年度は新たに、外国人住民の生活実態を把握するための各種調査や、外国人住民に対する情報発信スポットの拡充を行います。</p> <p>(1) 中区多文化共生推進アクションプラン推進事業 (600千円) 職員向けの研修 (12月)、多文化交流イベント (7年3月) の開催等を通じ、多文化共生意識の醸成に取り組みます。</p> <p>(2) 多言語広報紙発行事業 (2,842千円) 中区在住の外国人住民に役立つ生活情報や行政情報等を掲載した広報紙を、英語 (4,200部)、中国語 (4,400部)、日本語 (1,000部) で発行します。(夏号発行 (7月)・今後3回予定 (10月、7年1月、4月))</p> <p>(3) 多言語ホームページ運営事業 (497千円) 広報よこはま・なか区版掲載情報や生活情報等を、英語、中国語、ハングル、やさしい日本語で発信します。(月1~2回、4月~7月までの間に6回更新済み)</p> <p>(4) 多文化共生調査事業 (1,500千円) 【新規】 中区在住の外国人住民の生活実態を把握するため、国籍・在留資格別の人口の経年変化を調べる外国人基礎調査 (4月~9月) と、外国人住民の生活実態に関するインタビューを行う外国人意識調査 (4月~12月) を実施します。</p> <p>(5) 外国人向け情報発信スポット拡充事業 (100千円) 【新規】 より多くの外国人住民に生活情報をお届けできるよう、外国人住民が集まる場所 (飲食店、雑貨店、病院、日本語教室など) に行政情報を発信するスポットを計20か所設け、きめ細やかな情報発信を行います。(8月~)</p>
横浜市中期計画2022~2025		
政策11	施策3	
 <p>多言語広報紙夏号 (7月1日発行)</p>		
予算額	5,539千円	
所管課	区政推進課	


事業名		事業内容
2	多文化交流事業	<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 地域連携・人材育成事業 ア 地域連携事業：地域ヒアリング等を行い、情報収集やボランティアの活躍の場の発掘など地域との連携を図ります。 イ 人材育成事業：外国ルーツの若者の生活面や学習面の相談・支援を行う居場所づくりを通じて、地域人材を育成します。 ウ 多文化共生ボランティア養成講座 (対象各回10人・8回程度) エ ボランティア日本語教室連絡会の開催 (対象各回10人・2回)</p> <p>(2) 日本語学習支援事業 ア 定期教室 (前期：5~10月【満席】後期：11~3月 各20人・30回) イ はじめて教室 (6期【2期実施済分まで満席】各5人・10回)</p> <p>(3) 多文化共生理解事業 ア 多文化共生理解講座等の実施 (年3回) イ 中区多文化フェスタ開催 (年1回)</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア活用事業 自治会・町内会イベント等での通訳協力やチラシ翻訳等 対応言語：中国語、英語 7月時点：8件</p> <p>(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施 各課が発信する情報の迅速な多言語化のための翻訳 対応言語：中国語、英語 7月時点：12件</p> <p><参考>生活ガイダンス事業 (国際局再配当予算) 転入外国人向けにタブレットを活用した生活ガイダンスを実施</p> <p><参考>地域連携強化事業 (国際局再配当予算) 外国人集住地域での課題解決を図るコーディネーターが、地区定例会の参加や連携地域での多文化共生事業等を実施</p>
横浜市中期計画2022~2025		
政策11	施策3	
 <p>日本語学習支援の様子</p>		
予算額	8,243千円	
所管課	地域振興課	


4 地域の活力があふれるまちづくり


事業名		事業内容
1 「中区愛」はぐくみ事業★		<p>広く中区で親しまれている区の花「チューリップ」や横浜開港の歴史と異国情緒を感じさせる街並み・スポットなど、様々な中区の魅力を区民や大学・企業等と連携して、発信・再発見することで地域への愛着を育み、地域の活性化・元気づくりにつなげます。</p> <p>(1) チューリップであふれるまち事業 (385千円) 公園等での植付けイベントでの球根活用法、区民向け球根の配布を行うことにより、区の花チューリップの認知度向上及びGREEN×EXPO 2027の機運醸成を図ります。 (植付けイベント：11月 球根配布目標値：4,000個)</p> <p>(2) 魅力マップ活用事業 (100千円) 区内に点在する「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝える碑を紹介する街歩きマップ「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」を活用したまち歩きイベントを実施します。(10月 目標値：20人)</p> <p>(3) 大学・企業等連携事業 (330千円) 中区に拠点を有する大学及び企業等と連携し、区役所での職場体験や小学生向けのSDGs講座などを実施します。</p> <p>(4) 中区って「イイネ！」フォトコンテスト2024 (424千円) 「私だけが知っている」、「私だから知っている」中区の魅力が詰まった写真とエピソードを募集しています。 また、これまでの横浜マリントワー関連の応募作品の展示を横浜マリントワーで実施し(7～8月)、中区の魅力を積極的にPRしました。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策10		
 <p>横浜マリントワーでの中区フォトコンテスト作品展</p>		
予算額	1,239千円	
所管課	区政推進課 地域振興課 中土木事務所	


事業名		事業内容
2 まちづくり推進事業		<p>まちづくりの推進にあたっては、区民等のまちづくり活動を支援し、様々な地域資源を活用することで、区民の地域への愛着を育み、更なるまちづくり活動へつなげます。また、SDGsや脱炭素社会実現につながる身近な行動等の啓発を行うことで、区民の意識醸成を図ります。さらに、区民意識調査を実施し、区民の生活意識や区政に対する満足度・要望等を把握します。</p> <p>(1) 地域まちづくり活性化事業 (1,164千円) ア 地域が抱えるまちの課題解決に向けて必要な調査・検討等を行います。令和6年度は大岡川右岸の歩道拡幅に向けて、地域と意見交換しながら魅力ある右岸の空間の検討を進めます。(10月に歩道拡幅を想定した実証実験を実施予定) イ まちづくり団体の定例会への出席などにより、ルール・プラン策定や策定後の運用、その他のまちづくり活動等の支援を実施します。緊急性や必要性の高い課題に、関係課等と連携して対応します。</p> <p>(2) SDGs・脱炭素化推進事業 (400千円) 「中区SDGsマルシェ」を通じ、暮らしの中で取り組めるSDGsや脱炭素社会の実現につながる身近な行動の啓発を行います。今年度は、新たに区内3か所で実施されているマルシェと連携し、中区SDGsマルシェの拡大を図ります。また、企業と連携し、「なかくっこ自由研究大作戦」の題材として、小学生を対象としたSDGs及び脱炭素化を啓発する夏休み講座を開催しました。(8月14日 4人)</p> <p>(3) 区民意識調査事業 (3,000千円) 【新規】 区民の生活意識・要望を把握するため、中区内に居住する満18歳以上の個人の内、4,000人に調査票を郵送しました。調査結果は報告書としてまとめ、7年2月に公表する予定です。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策29	施策2	
 <p>中区SDGsマルシェ夏休み講座の様子</p>		
予算額	4,564千円	
所管課	区政推進課	


事業名		事業内容
3 自治会町内会活動支援事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策9 施策1		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携・協力関係を深めます。自治会町内会への加入を促すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進 (350千円) 自治会町内会が配布する加入促進チラシの作成や新築マンションの管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援します。</p> <p>(2) 掲示板整備補助事業 (1,000千円) 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会 (860千円) 市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表するため、表彰式・感謝会を開催します。(7年3月)</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援 (345千円) 自治会町内会実務担当者向け研修会や区連会定例会等を通じ、自治会町内会の活動を支援します。(研修会 4月3日、4月20日 65名)</p> <p>(5) 学生連携事業 (800千円) 関東学院大学の学生と自治会町内会長との意見交換を含む若者と地域との関わりの場を提供し、自治会町内会加入率の低下や担い手不足など地域が抱える課題解決の手がかりを探ります。</p> <p><参考> (市民局再配当予算等) 地域活動推進費補助金・防犯灯維持管理費補助金、自治会町内会館整備補助金、自治会町内会館脱炭素化推進事業補助金</p>
 <p>自治会町内会加入促進チラシ</p>		
予算額	3,355千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
4 みんながつながる地域づくり事業★ 横浜市中期計画2022～2025 政策9 施策2		<p>自治会・町内会をはじめとした地域の様々な主体の連携・協働による地域課題解決の取組を支援し、地域人材の発掘・育成につなげます。また、地域と、なか区民活動センターや国際交流ラウンジとの連携強化を支援します。</p> <p>(1) 地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業 (1,010千円) 地域が自主的に各種団体と連携しながら、地域を盛り上げる祭りやイベントを企画し、実施できるよう支援します。イベントへの参加を通じて若い世代が自治会町内会活動に参加するきっかけをつくるとともに、多世代、多国籍の区民と一緒に地域の盛り上げに関わることによる地域の活性化を目指します。</p> <p>ア 地域の賑わい、つながり作りのための補助制度 みんながつながる地域づくり補助金 5月31日募集終了 「本牧・根岸地区まちづくりの会」他8件 計700千円の交付決定)</p> <p>イ 地域の広報サポート (地域人材と連携したICT活用支援、ホームページ掲載等)</p> <p>(2) 地域運営力向上サポート事業 (205千円) 地域が自主的に、地域の課題を考え、勉強会の成果をもとに新たに取り組めるよう、地域(連合町内会、単位町内会等)の中で課題となっているテーマについて、勉強会を開催するための専門家・コーディネーター等の派遣費用の支援や講師の紹介を行います。</p>
 <p>夏祭り(縁日)</p>		
予算額	1,215千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
5 商店街魅力アップ事業 横浜市中期計画2022～2025 政策20 施策4  「ただいま商店街」 中継の様子		中区の商店街のさらなる魅力アップと活性化に向けた支援を行います。 (1) 商店街広報活動事業 (2,700千円) 地域と密着した地元メディア（FM放送局、地域情報紙）を活用して商店街の魅力やイベント情報等を紹介する番組発信するなど、地域での消費促進に向けた広報を行います。 (2) SDGs 商店街プロジェクト事業 (725千円) 商店街には身近な買い物の場にとどまらない社会的価値があります。一方で、店主の高齢化や店舗の減少に伴う顧客の減少などが課題となっています。 商店街の魅力アップとともに持続可能な地域社会をつくっていくために、商店街振興にSDGsの観点を取り入れ、商店街と次世代を担う子どもたちや地域の様々な団体等が連携し、子どもたちが商店街等の地域社会に愛着を持ち、地域に関わる仕掛けづくりに取り組みます。 <参考> (経済局再配当予算) 商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行います。
予算額	3,425千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
6 インクルーシブスポーツ推進事業 横浜市中期計画2022～2025 政策8 施策2  インクルーシブスポーツ体験会		障害者や高齢者等、これまでスポーツに取り組む機会が少なかった人にスポーツと関わる機会を提供するとともに、地域社会で生活する人々の交流の促進を図るため、インクルーシブスポーツを推進します。 幅広い人々が一緒にスポーツに取り組み、時間、場所、経験等を共有することで、誰もがお互いを尊重し合い、いきいきと暮らすことができる共生社会の実現に向けた機運醸成を図ります。 (1) 体験できる場の提供 (1,745千円) ア インクルーシブスポーツ体験会の開催 ボッチャ、車いすバスケットボール、ブラインドサッカー、アンプティサッカー、ナインゴール、輪投げ、射撃（輪ゴム）の体験会 （6月2日 大さん橋ホール、約1,150名参加） イ 区内のイベントにおける体験ブースの設置 中区インクルーシブスポーツ連絡会等と連携し、区内で開催されるイベントに体験ブースを設置 (ア) ポレポレまつり（10月26日） (イ) 中区民祭り「ハローよこはま」（11月10日） (2) 交流大会の開催 (550千円) 体験を通じてインクルーシブスポーツの魅力を発信するため、ボッチャ交流大会を開催（7年3月）
予算額	2,295千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
7	スポーツ・青少年事業	<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、地域の関連団体と連携して事業を展開していきます。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業 (1,150千円)</p> <p>ア 区スポーツ協会活動支援事業 各種スポーツ団体が加盟する区スポーツ協会への事業費補助</p> <p>イ 健康づくり推進事業 (ア) ラジオ体操指導者講習会 (6月15日 23名) (イ) ランニングクリニック (6月15日、29日 のべ45名)</p> <p>(2) プロスポーツチーム等との連携事業 (685千円) 横浜エクセレンス、横浜キャノンイーグルス、横浜DeNAベイスターズ、Y.S.C.横浜と連携</p> <p>ア 中区スポーツ教室 (7月～2月)</p> <p>イ 中区ラグビー教室@YC&AC (7年2月)</p> <p>ウ 区民祭りにおけるスポーツ体験コーナー設置 (11月10日)</p> <p>エ 区民デーの広報ほか開催支援</p> <p>(3) 青少年育成事業 (995千円)</p> <p>ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に事業費を補助</p> <p>イ 青少年の交流促進 (ア) なかくっ子クルーズ (6月26日 マリーニルージュ 児童50名) (イ) 中区ダンスフェスティバル (7月28日) (ウ) 小学生フットサル大会 (7年1月、3月)</p> <p>(4) 中区文明開化ウォークラリー (610千円) 街並再発見と健康づくりを目的に、地域団体(青少年指導員・スポーツ推進委員)が主体となり開催 (6月2日、64組175名)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策8	施策1	
 <p>中区文明開化 ウォークラリー</p>		
予算額	3,440千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
8	区民活動支援事業	<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進します。また、中区読書活動推進目標に基づき地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業(なか区民活動センター) (2,139千円)</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業、なか区民活動センター祭り(ハローよこはまと同時開催)、中区民利用施設スタンプラリー(秋頃)、登録団体との連携講座、フラワー&グリーンフェスタ(5月26日)でGREEN×EXPO 2027周知、街の先生や登録団体と連携した地域支援の実施等</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌「なかぼぼら」の発行(1,000部 年6回) 区民利用施設間でチラシを一括発送する広報支援(月1～2回)</p> <p>(2) 生涯学習事業 (220千円)</p> <p>ア 地域課題解決のための地域で活躍する人材育成講座(10～12月 3回)</p> <p>イ 街歩き講座「中区タウンピクニック」(5月 12人、10、12月)</p> <p>(3) 文化活動支援事業 (80千円) 共催・後援等による文化活動の支援</p> <p>(4) 読書活動推進事業 (267千円)</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会、「なか区ブックフェスタ」(10～11月)の開催</p> <p>イ 横浜市図書館ビジョンに基づく読書啓発イベントの開催(11月23日)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策9	施策4	
 <p>中区民利用施設 スタンプラリー台紙</p>		
予算額	2,786千円	
所管課	地域振興課	


事業名		事業内容
9 中区民祭り 「ハローよこはま」		<p>中区民の交流と調和による地域連帯の醸成と、区民の健康増進を目的に中区民祭り「ハローよこはま2024」を開催します。</p> <p>(1) 基本コンセプト</p> <p>ア 中区のもつ活力や魅力を広く発信します。</p> <p>イ 中区民としての意識の高揚や、地域愛及び協働・自治意識の醸成をねらいとします。</p> <p>ウ 横浜を代表する観光地が会場であることから、「区民が楽しめることを基本としつつ、さらに中区で働く人や訪れる人々も楽しめるイベントづくり」を心がけます。</p> <p>(2) 中区民祭り「ハローよこはま2024」の特色</p> <p>ア 「GREEN×EXPO 2027」や「中区制100周年」に向けた機運醸成に関係機関・団体等と連携し取り組みます。</p> <p>イ こどもを始め、誰もが参加しやすいイベントとなるよう、各プログラムやブース出展に取り組みます。</p> <p>(3) 開催日・会場</p> <p>ア 日程：11月10日</p> <p>イ 会場：象の鼻パーク</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策9	施策2	
 <p>中区民祭り 「ハローよこはま2023」</p>		
予 算 額	2,925千円	
所 管 課	地域振興課	

事業名		事業内容
10 都市間交流事業		<p>横浜のシティプロモーションの推進、地域経済の活性化及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげるため、国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信します。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市(344千円)：友好交流協定(平成26年3月締結) 飯能新緑ツーデーマーチ(11月)、ハローよこはま(11月)や飯能まつり(11月)への参加及び広報紙やSNS等を通じての相互PRに取り組みます。 交流10周年を迎え、記念事業として10月に飯能市民を対象に横浜市中区へのツアーを実施します。</p> <p>(2) 群馬県嬲恋村(155千円)：友好交流協定(平成28年2月締結) つまごい祭り(7月)及び中区民祭り(11月)への参加を通じて、相互PRや誘客に取り組んでいます。</p> <p>(3) 岩手県釜石市(80千円)：友好交流協定(平成26年3月締結) 中区職員有志が釜石市の復興支援を行う「横浜支援隊」の活動を契機に、友好交流協定を締結。引き続き協定に基づき、防災分野等を中心に相互交流を行います。</p> <p>(4) 仁川広域市中区(121千円)：友好交流協定(平成22年3月締結) 本市と仁川広域市とのパートナー都市協定締結を契機に、区同士の友好交流協定を締結。引き続き、協定に基づき事業を推進します。 ※上記のほか、山形県米沢市については観光物産市の開催、沖縄県宜野湾市については少年野球チームの交流試合等を支援しました。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
政策22	施策3	
 <p>第22回飯能新緑 ツーデーマーチの様子</p>		
予 算 額	700千円	
所 管 課	総務課 区政推進課 地域振興課	

事業名		事業内容
11 中区制100周年 準備事業【新規】  100周年スウィングー		<p>2027年(令和9年)に中区ほか4区が区制100周年を迎えます。また、上瀬谷では、環境をテーマとしたGREEN×EXPO 2027が開催されます。この大きな節目の年を、区民・団体・事業者とともに祝い、中区のさらなる発展に向けた契機とするため、他の4区及び関係各局と連携しながら、庁内外への機運の醸成、記念行事等の実施に向けた準備を進めます。</p> <p>・実行委員会の開催 区民・団体・事業者・行政等の代表者からなる中区制100周年記念事業実行委員会(仮称)設立に向けた準備委員会を立ち上げます。(9月) その後、中区制100周年記念事業実行委員会(仮称)を設立・開催し、同年に開催されるGREEN×EXPO 2027や他区の区制100周年記念事業と連携しながら、記念行事等について検討します。(12月)</p>
	予算額	1,000千円
	所管課	総務課

5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1 区役所サービス環境向上事業★  窓口字幕システムの様子	区民に寄り添った行政サービスを提供することにより、行政サービスに対する満足度向上を目指します。また、来庁者にとってより利用しやすい庁舎となるよう環境改善を進めるとともに、デジタル化の推進による執務環境の向上にも取り組み、持続可能な区役所運営を図ります。	
	予 算 額 15,754千円 所 管 課 総務課	(1) 人権啓発事業 (635千円) ア 人権が尊重される社会構築に向け、人権擁護委員とも連携しながら、区民を対象にした人権啓発講演会を開催します。(7年1月) イ 職員の人権意識の向上を図るため、外部講師による障害当事者とのコミュニケーションを通じた人権研修を係長級以上の責任職を対象に実施しました。(7月10日 76名) (2) 区民顕彰・CS向上・ES向上・人材育成事業 (353千円) 顕著な活動を行った区民を顕彰するとともに、行政サービスに対する満足度の向上を図るため、新採用・転入職員を対象としたお客様接遇研修を実施しました。(6月18日 26名、7月4日 34名) (3) 利用しやすい区役所づくり事業 (13,674千円) 総合案内スタッフと警備員が連携して、警備や案内を行います。 (4) 執務環境向上事業 (1,092千円) 横浜DX戦略におけるデジタル区役所の推進を図るため、業務の質の向上・事務効率化に向けたICT環境の拡充を進めます。 ア 区で使用している持ち出し用端末に一元管理するソフトウェアを導入し、効率的な管理に併せ、セキュリティを強化しました。(4月) イ 安心してコミュニケーションがとれる窓口づくりを推進するため、音声をリアルタイムに認識し、アクリル板などに字幕として表示できる「窓口字幕システム」を本格運用します。

事業名		事業内容
2 広報・案内事業  横浜公園のチューリップ 開花状況を WEB及びSNSで発信	様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげていきます。また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるように、総合案内窓口業務に専任のスタッフを配置します。	
	予 算 額 5,302千円 所 管 課 区政推進課	(1) 広報相談事業 (2,476千円) ア 区民生活マップの更新・発行 (7年3月末) イ 区ホームページでの区政情報発信 ウ X (旧Twitter) 及びLINEによるイベント情報等の発信 発信件数 (7月末時点) X (旧Twitter) : 70件 L I N E : 21件 エ 庁内職員のための広報研修 (6月25日) (2) 総合案内運営事業 (2,826千円) ア 1階総合案内に受付専任スタッフ (委託) を配置 イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ配架 ウ 1階ロビーのデジタルサイネージによる動画及び画像の放映

令和7年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方（案）

令和7年度予算編成については、横浜市中期計画の最終年であることを念頭に、「誰もが安心と活力を実感するまち中区 ～住んで良し、働いて良し、訪れて良し～」を基本目標とします。

まずは、誰もが安心を実感できる災害に強いまちづくりをしっかりと進めます。その上で、区役所一丸となって子ども・子育て支援に取り組むとともに、「まちの賑わい」と「つながりづくり」を意識した地域経済の活性化や、誰もがお互いの個性や多様性を認め合う共生社会の実現に向けて取り組みます。

また、各事業の予算編成にあたっては、区民意識調査等の結果も参考にしながら進めます。

本市が一丸となって進める脱炭素社会の実現に向けた取組を検討するとともに、2027年に向けて、「GREEN×EXPO 2027」のプロモーションや「中区制 100 周年」の準備を推進していきます。

【参考】令和6年度中区運営方針 目標達成に向けた5つの施策

- 1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり
（「防災」「防犯」「環境美化」等 関連事業）
- 2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり
（「子ども」「高齢者」「障害者」「健康」等 関連事業）
- 3 多文化共生のまちづくり
（「多文化」等 関連事業）
- 4 地域の活力があふれるまちづくり
（「地域まちづくり」「地域活動」「スポーツ」等 関連事業）
- 5 区民目線で行動する区役所づくり
（「区民サービス向上」「広報」等 関連事業）